

EMPEX

日・本・探・索

ポケナビ[®] イーザー GPS65 EZ (FG-650/FG-653)

取扱説明書 保証書付き



Global Positioning System

このたびはエンペックスのポケナビをお買い上げいただき、ありがとうございます。
正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。なお、この説明書はお使いになる方が、いつでも見られるところに必ず保管してください。

説明書をお読みにする前に

この取扱説明書は以下のような構成になっています。

- 第0章「おねがい」
- 第1章「はじめに」
- 第2章「入門編」
- 第3章「ポイントとナビゲーション」
- 第4章「表示変更と設定」
- 第5章「接続とデータ入出力」
- 第6章「ポケナビQ&A」
- 第7章「付録」

まず、「入門編」までをお読みいただき、操作の基本を練習してください。3～5章はポケナビをさらに使いこなすために、機能ごとに詳しく説明してあります。「ポケナビQ&A」は使用していてわからないこと、困ったことがありましたらお読みください。「付録」には製品仕様などの資料を掲載しています。

目次

0.おねがい	電池を交換したときは	13
安全に正しくお使いいただくために		1
安全上のご注意		2
ご使用上の注意		3
日常のお手入れについて		3
1.はじめに		
商品の確認		5
各部の名称		6
ポケナビの特長		7
こんなことができます		8
GPSとは?		9
GPS信号について		10
お使いになる電池について		11
電池の入れかた／外しかた		12
電池の交換メッセージ		13
2.入門編		
さあ、はじめましょう!		15
各キーの名称と役割		15
ポケナビの持ち方		16
電源の入れかた		16
メインメニュー		17
基本操作の練習		19
緯度・経度を知る。		
———現在位置ページ		20
位置のマーク		21
ポイントに名前を付ける。		
———文字入力ページ		22
ナビ方法を選ぶ。		
———ナビ方法選択		23

目的地を設定する。		
———ポイントナビ		24
ナビゲーションをする。		
———コンパスページ		27
位置関係を見る。		
———マップページ		29
軌跡の消去のしかた		32
電源の切りかた		33
3.ポイントとナビゲーション		
ユーザーポイント		35
ルートについて		38
ルートの作成・編集		39
ルートナビ		42
リターンナビ		45
緊急ナビ		47
4.表示変更と設定		
マップページの表示変更		49
コンパスページの表示変更		51
現在位置ページの表示変更		53
設定メニュー		54
測位設定ページ		55
日付と時刻ページ		56
軌跡設定ページ		57
省エネ設定ページ		59
GPS受信機の初期化		61
シミュレーターモード		63
バッテリーセーブモード		63
入出力設定ページ		65
5.接続とデータ入出力		
ポケナビ同士の接続		67
パソコンとの接続		69
D-GPSについて		71
FM多重方式D-GPS		71
携帯電話方式D-GPS		73
ナビトラシステムとの接続		75
6.ポケナビQ&A		
受信できないときは?		77
電源が入らない		
／画面が映らないときは?		78
海外で使うときは?		78
位置の誤差が出るのですが?		79
7.付録		
製品仕様		81
オプションパーツ		82
測地系一覧表		83
時差一覧表		86
索引		87
取扱説明書及び		
簡易ガイドブックについて		90
アフターサービスについて		91
保証規定		91
保証書		裏表紙

0. おねがい

安全に正しくお使いいただくために

■絵表示について

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。



警告 誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意 誤った使い方をすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

■図記号の例



⊘は禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに文章や絵で示します。



●は強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。

安全上のご注意

⚠注意

- ・GPSシステムはアメリカ国防総省により運用されており、国防当局の都合により、GPSの精度に影響を及ぼす変更が生じるかもしれません。
しかし、アメリカ国防総省はGPSシステムの精度低下や故障によって生じる不都合に関しての責任は一切負いません。
- ・各種スポーツ、レジャーに本機を利用し、発生した事故や損害等については、弊社ではその責任を負えませんのでご了承ください。
- ・本機にはお客様がご自身で修理できる部品はありません。修理は弊社でのみ可能です。弊社以外で修理、変更を加えますと保証が無効となります。

⚠警告

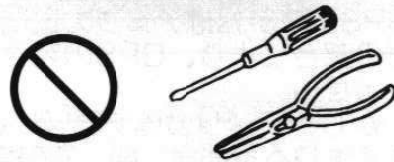
- ・船舶や航空機の主航法装置として使用しないでください。本製品は専門的な計測器として使用する目的で製造されたものではありません。
- ・車両走行中にポケナビを操作するのは危険です。
操作をするときは、必ず安全な場所に停車してから行なうか、同乗者に操作を依頼してください。
- ・車両等でご使用になるときは、所有者もしくは運転者の責任において、事故による損害やケガが生じないように、本機を安全な場所に置いてください。
エアバッグの上など、衝突や事故によって本機が乗員に打撃を与えるような場所には置かないでください。

ご使用上の注意

強いショックを与えないでください

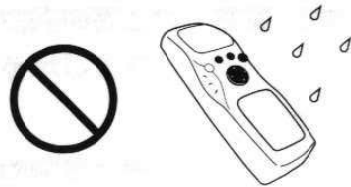


分解しないでください

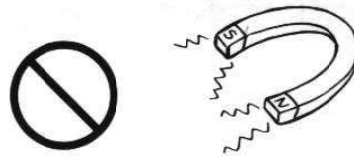


■次のような所では使わないでください。

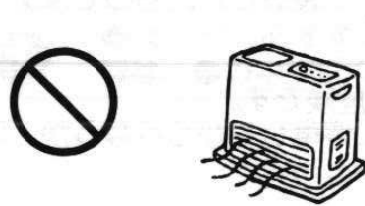
・水中、水しぶき及びその他の液体のかかる場所



・強い磁気や電磁波のある場所



・温度が+60℃以上になる場所



・温度が-10℃以下になる場所



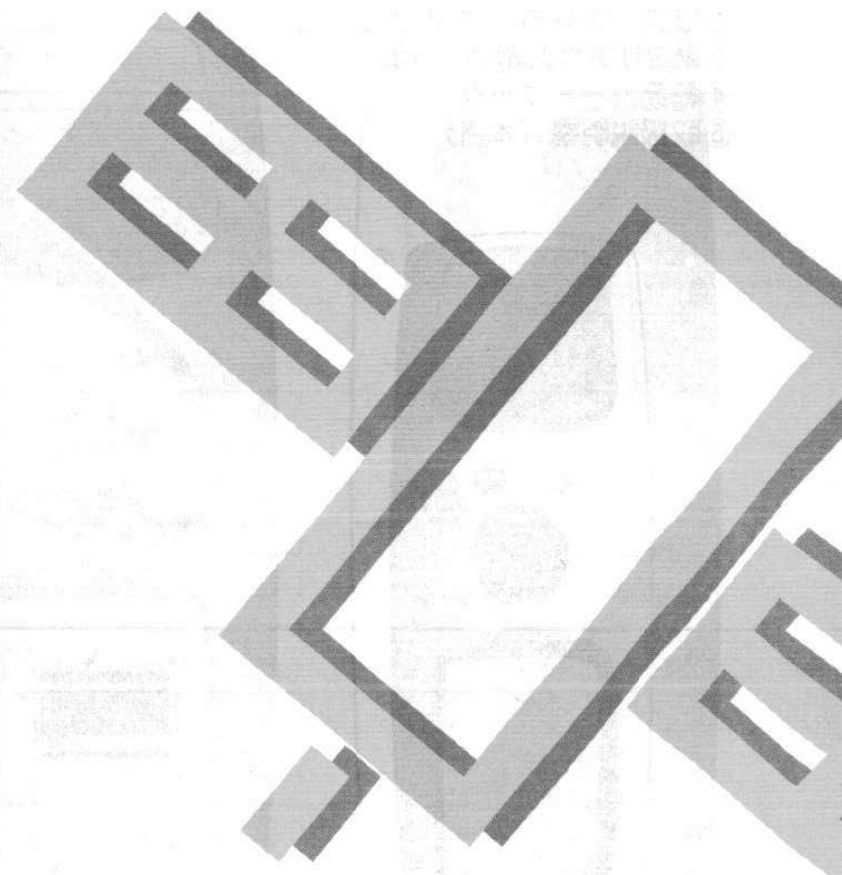
日常のお手入れについて

ケースの汚れを落とすとき、シンナー、ベンジン、ミガキ粉、スプレー式クリーナー、各種ブラシなどは使用しないでください。油汚れなどは、やわらかい布に中性洗剤を浸し、よくしぼってから拭き、乾拭きをしてください。



EMPEX

1. はじめに



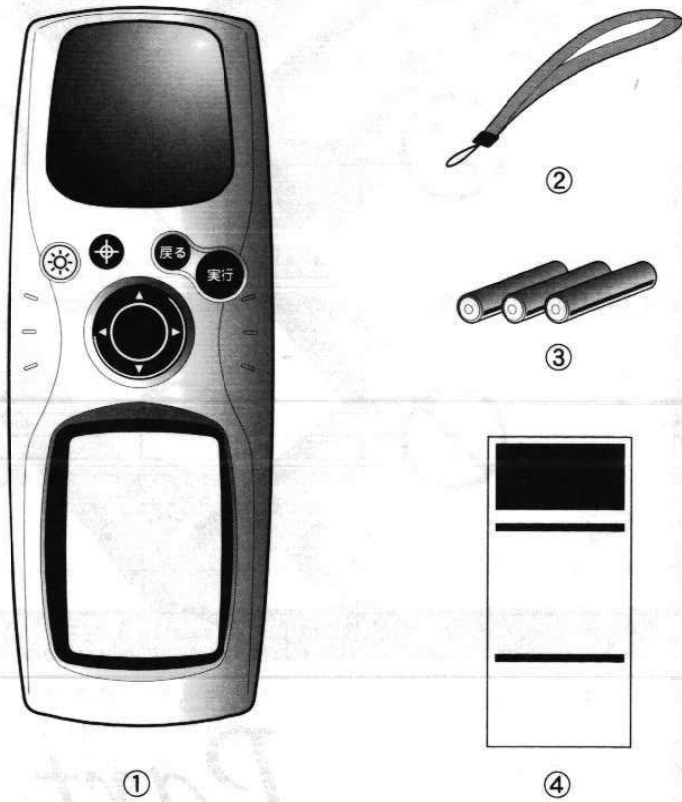
Part I

READ ME FIRST

商品の確認

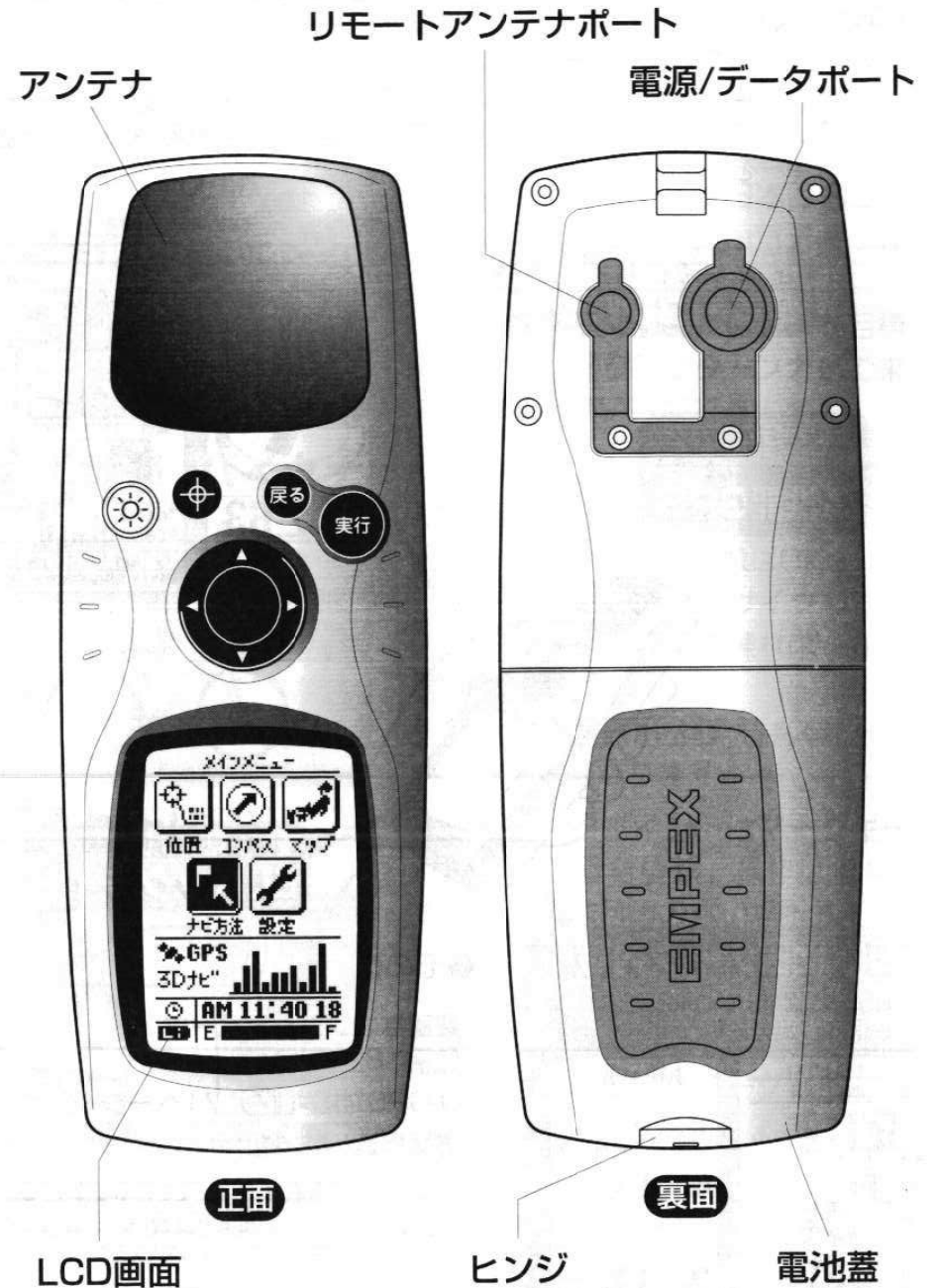
お使いになる前に、本体及び付属品の確認を行ってください。構成は下記のようになっています。

- ① ポケナビ本体
- ② リストストラップ(本体に付属)
- ③ 単3リチウム電池 3本
- ④ 簡易ガイドブック
- ⑤ 取扱説明書 (本書)



もし、不足品がありましたら、お買い上げ店までご連絡ください。

各部の名称



「はじめての方でも使えるGPSを・・・」を目標にこのポケナビは開発されました。

GPSは今まで操作が難しいものでした。

このポケナビは日本語とグラフィック（絵でわかる）表示で、見やすく、わかりやすい簡単操作。自分が行いたい内容を画面に表示されるメニューで選び、実行キーを押すだけの単純さです。

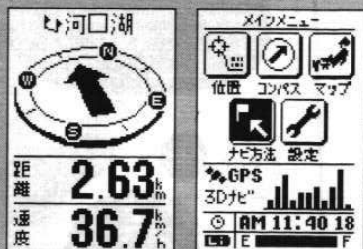
片手で使えて、持ちやすい。
軽量・コンパクト

衛星からの電波を
キャッチ。
高性能GPS



指一本の簡単操作

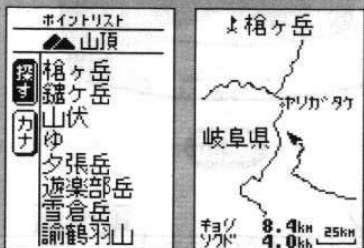
日本語とグラフィック表示で
見やすい、わかりやすい。



夜でも見やすい。
ELバックライト

日本地図データ内蔵

約6000のポイントを取録。
12段階の地図表示。



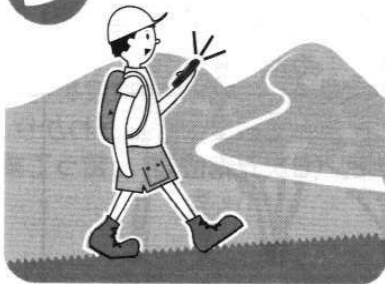
●その他

- ・豊富なオプションパーツ (P.82ページ)
- ・D-GPS対応 (P.71ページ)
- ・防滴構造(JIS4級)*

*濡れた手でさわる程度なら大丈夫です。
しかし、完全な防水構造ではないので直接水を
当てたり、水中に入れたりしないでください。

山で、海で、空でそのフィールドを選ばないポケナビ。
そのコンパクトさ、シンプルさを生かしてカーナビにはない機動性を発揮、
アウトドアであなたの頼もしいガイドになります。

歩きナビ

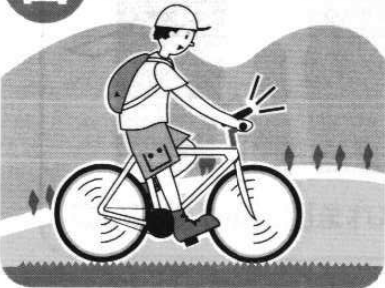


とってもハンディーなポケナビは
ハイキングやトレッキングに最適。

ポイントリストには日本百名山を
始め約1,000箇所の山頂データが
登録済みです。

行きはポイントナビで山頂を目標
に向かい、帰りはリターンナビで来
た道に戻る使い方ができます。

自転車・バイクナビ

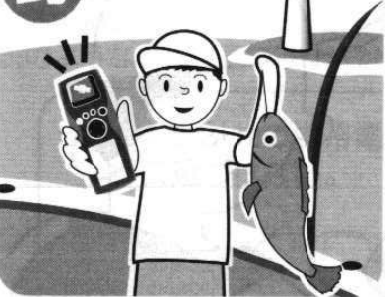


オプションのソフトケースを使え
ば自転車ナビに早変わり。バイクな
らタンクバックに入れればOK。

ルートナビを使ってサイクリング
・ツーリングの計画を練れば、旅の
強い味方に。

また、速度表示を使えばスピード
メーターにもなります。

釣りナビ



よく釣れるポイントはマークキー
を使って位置を登録。操作は簡単、
海上のような目印のない場所もOK。

お気に入りの景色が見える場所、
キノコ狩り・山菜採りの穴場、珍し
い動物を発見した・・・など地図に
載っていない場所をマークしてあな
ただけの地図を作りましょう。

他にも使い方はアイデア次第・・・

地図作成や測定の補助に、学校の教材や訓練用に、オリエンテーリングや宝
探しなどのゲームに、ラリーなどモータースポーツに、パラグライダーなど
スカイスポーツ用にと仕事にもレジャーにも使い方はアイデア次第で無限大
です。

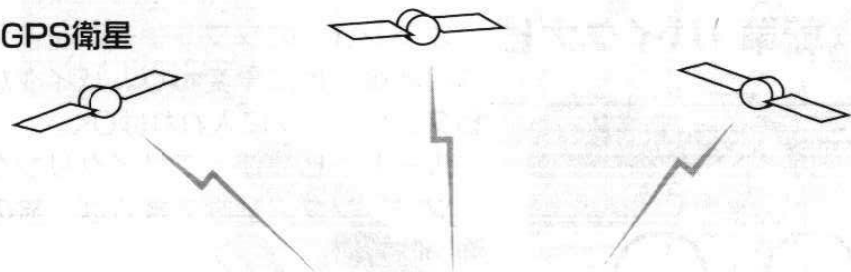
GPSとは？

GPSとは、地球上であればいつでもどこでも、簡単な方法で確実に自分の位置が分かる、元々はアメリカで軍事用に開発された、人工衛星による全球測位システムのことです。

衛星から発信される高精度の時間信号と位置情報を受信し、自分の位置を計算して緯度、経度、高度、方位などを表示し、目的地までのルートナビゲートができます。

位置を測定することを「測位」といい、少なくとも3つの衛星電波を捕捉（受信）していれば「2Dナビ（2次元測位）」と言って緯度・経度がわかり、4つ以上の衛星電波を捕捉していると「3Dナビ（3次元測位）」と言って緯度・経度・高度がわかります。

GPS衛星



位置
◎ 現在位置
N 36° 26' 15"
E 137° 40' 30"
高度 1927m
速度 2.3km/h
移動距離 9.4km

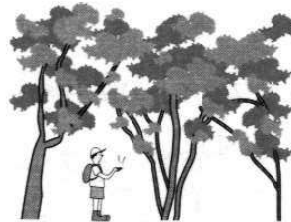
簡単に現在位置の情報がわかります。

GPS信号について

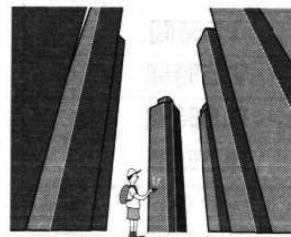
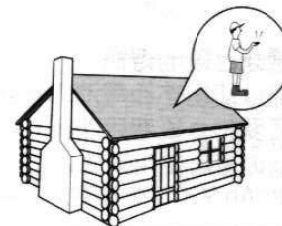
●GPS信号を捕捉しにくい場所

GPS信号は非常に弱く、金属・岩石・建物・人間・生い茂った木々などを通ることはできません。次のような場所では捕捉しにくい、捕捉できないことがあります。

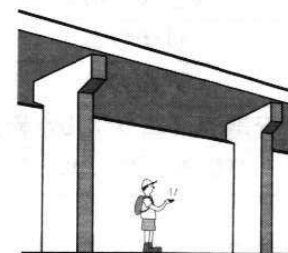
生い茂った木の下など



建物の中、屋根の下



高い建物や壁に囲まれた場所



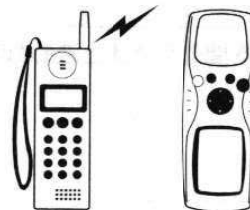
高架道路の下など

●その他の注意

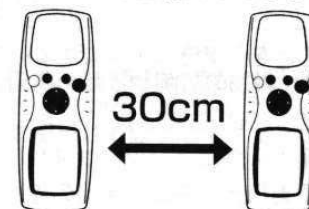
GPS信号は電波であるため、近くに同じ周波数帯の電波を発生するものがあると捕捉が妨げられることがあります。

次のようなものに近づけすぎないでください

ギガヘルツ
1.5GHzの携帯電話※
に近づけない。



GPS機器同士を
近づけすぎない。
(30cm以上離しましょう)



※携帯電話の周波数については、各携帯電話事業者にお問い合わせください。

お使いになる電池について

■使用する電池の種類について

- ・本機は単3型電池を3本使用します。
- ・使用できる電池の種類は**単3リチウム電池**、**単3アルカリ電池**、**単3充電電池（ニッケル水素、またはニッカド）**の3種類です。
- ※単3リチウム電池は大手電気店、カメラ店などでお買い求めください。
- ※充電電池と充電器は市販の他社製品をお使いください。大手電気店、ホームセンターなどでお買い求めください。

■電池の種類と電池寿命

- ・電池寿命は使用する電池の種類や温度、バックライトの使用頻度等の条件によって変わってきます。
- ※充電電池の連続使用時間はニッケル水素は1500mAhタイプ、ニッカドは1000mAhタイプをお使いの場合の時間です。

電池の種類	連続使用時間（最大）
リチウム	13時間
アルカリ	7.5時間
充電電池（ニッケル水素）	5.5時間
充電電池（ニッカド）	4.5時間

⚠ 警告

- ⊗ リチウム電池、アルカリ電池は充電しないでください。充電すると液もれ、破裂することがあります。
- ⊗ ショート、分解、変形、加熱、火に入れるなどをしないでください。この電池は有機溶媒など可燃性物質を内蔵しており、発火、発熱、破裂の原因となります。
- ❗ 電池は幼児の手の届かない所に置いてください。万一飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。
- ❗ 電池を破棄する場合および保存する場合には、テープなどで絶縁してください。他の金属や電池とまざると発火、破裂の原因となります。

⚠ 注意

下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと液もれや破裂の恐れがあり、機器の故障やけがの原因となります。

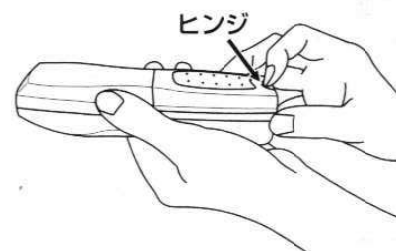
- ⊗ ⊕ ⊖ を正しく入れてください。
- ⊗ 電池に直接ハンダ付けはしないでください。
- ⊗ 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。
- ⊗ 使い切った電池はすぐに機器から取り出してください。

電池の入れかた／外しかた

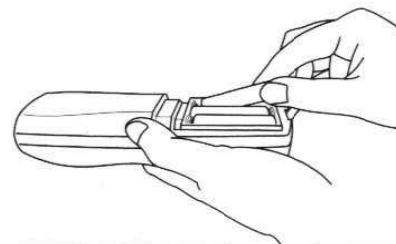
電池の入れかた

1. 底部にあるヒンジを手前に引き、電池蓋を外します。

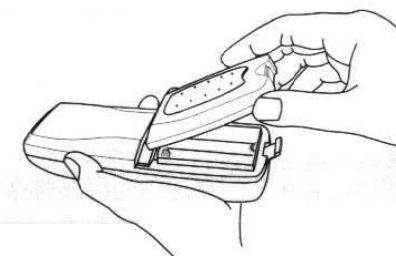
⊗ 電池ボックス内は防水構造になっていませんので水滴がかかる場所で電池蓋を開けないでください。



2. 電池をケース内のマークに従って ⊕ ⊖ の方向を間違えないように正しくセットします。



3. 電池蓋を閉じ、ヒンジで確実に固定します。

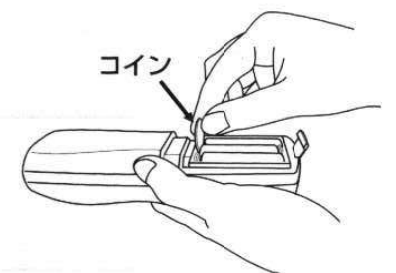


電池の外しかた

1. 底部にあるヒンジを手前に引き、電池蓋を外します。

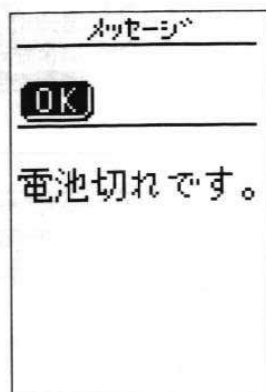
2. 電池の ⊕ 側にコイン等を差し込んではずしてください。

❗ 電池をはずすときには爪を傷めるおそれがありますので、コイン等を使用してはずしてください。



電池の交換メッセージ

- ・電源が入らなくなったときはときは新しい電池に交換してください。
- ・電池切れが近くなると下のメッセージが表示されますので、新しい電池をご用意ください。



ご注意

このメッセージが表示されてから、電池が切れるまでの時間は使用状況により変化します。あくまで目安としてお使いください。

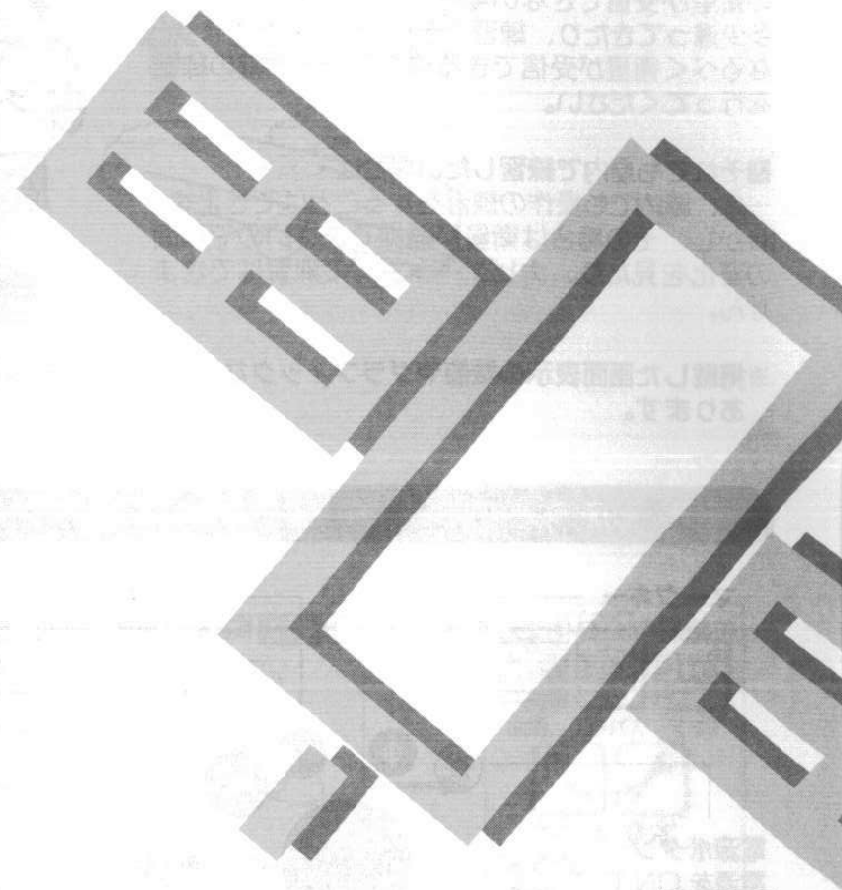
電池を交換したときは

■電池の種類を設定する

本機には標準でリチウム電池をセットしていますが、電池を交換した際にリチウム以外の電池に変えた場合、電池残量の表示が不正確になります。電池残量の表示を正確なものにするために、電池の設定を変えてください。

設定の方法は「省エネ設定ページ」をご覧ください。(☞ 59ページ)

2. 入門編



Part II

GETTING STARTED TOUR

さあ、はじめましょう！

さて、ここからポケナビの操作を練習していきましょう。

■なるべく練習は屋外で・・・

この入門編で練習することは、屋外で衛星信号を受信して行うことを前提にしていますので、屋内の衛星が受信できない場所で行うと画面の内容が多少違って来たり、練習できない内容もあります。なるべく衛星が受信できる場所で、入門編の練習を行ってください。

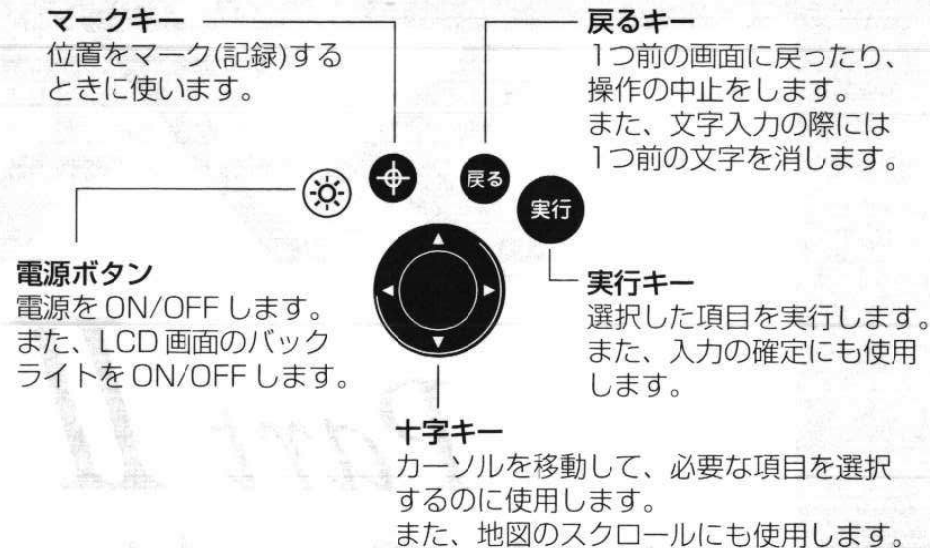


■それでも屋内で練習したい場合は・・・

一応、屋内でも操作の練習をすることはできます。しかし、その場合は衛星が捕捉できないので画面の変化を見たり、ナビゲーションの練習はできません。

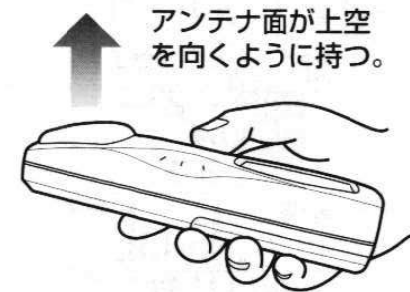
※掲載した画面表示の数値やグラフィックなどは実際とは多少異なることがあります。

各キーの名称と役割



ポケナビの持ちかた

屋外の上空が開けた信号が受信しやすい場所で、アンテナ部分が水平に上空を向くように持ちます。



電源の入れかた

電源ボタンを約1秒間押し続けます。



タイトル画面が現れます。



メインメニューが現れます。

メインメニュー

電源を入ると、タイトル画面の次に現れるのが「メインメニュー」です。この画面で、主な操作メニューの選択や、受信状態の確認、電池残量の確認が行えます。



■メニュー

メインメニューには5つのメニュー項目があります。



位置

現在位置や、速度、移動距離に関する情報が数値で見られます。



コンパス

目的地までを矢印がナビゲーションする画面です。



マップ

現在位置やポイント、軌跡などが簡易地図上に表示されます。



ナビ方法

目的地やルートを設定するメニューです。



設定

操作や機能を設定するメニューです。

■時計

衛星からの信号で自動的に時刻合わせが行われます。

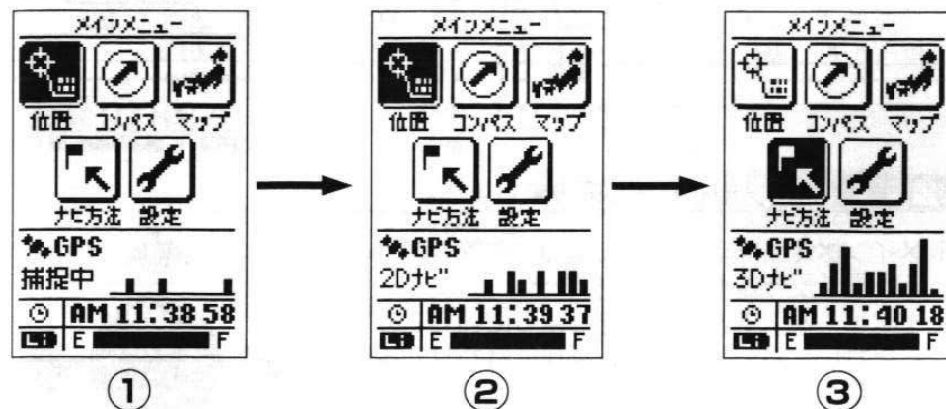
■電池残量表示

電池残量をバーの長さで表示します。

■受信状態表示

衛星信号の受信状態を表示します。電源を入れた直後は表示が「捕捉中」になっています。衛星信号が受信されると表示が「2Dナビ」、「3Dナビ」に変わっていきます。

●表示の変化



- ① 捕捉中 測位（位置の特定）に必要な数の衛星信号を探しています。
- ② 2Dナビ 最低3個の衛星を捕捉し、2次元測位(2D)の状態では緯度・経度がわかります。
- ③ 3Dナビ 最低4個の衛星を捕捉し、3次元測位(3D)の状態では緯度・経度と高度がわかります。精度も2Dナビより良くなります。

■信号強度バー

バーの本数が受信している衛星の個数を表し、バーの高さが受信信号の強度を表します。

ご注意

信号強度バーが3本立っていても「2Dナビ」と表示されなかったり、バーが4本以上立っていても「3Dナビ」と表示されないことがあります。これは信号を処理中であつたり、信号の受信強度が弱いときに起こります。

基本操作の練習

■操作の基本

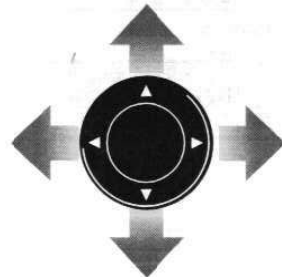
・操作の基本は「十字キー」で黒く反転している「カーソル」を動かし、使用したい項目のところで「実行キー」を押します。

・「戻るキー」を押すと1つ前の操作に戻ったり、操作を中止したりします。



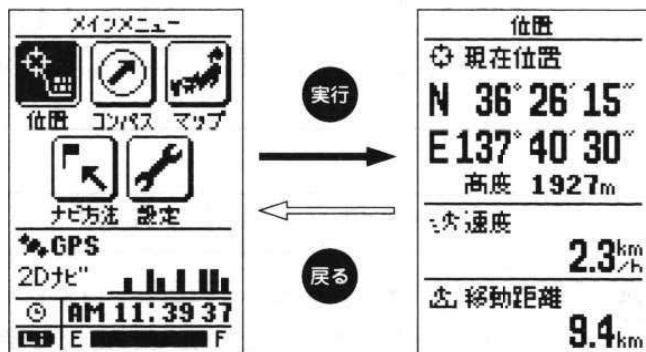
練習 1 カーソルを動かしてみましょう。

- 1.メインメニューで最初は左上の「位置」のところが黒く反転しています。
- 2.十字キーを上下左右に好きなように押してみてください。カーソルがキー操作に合わせて移動します。



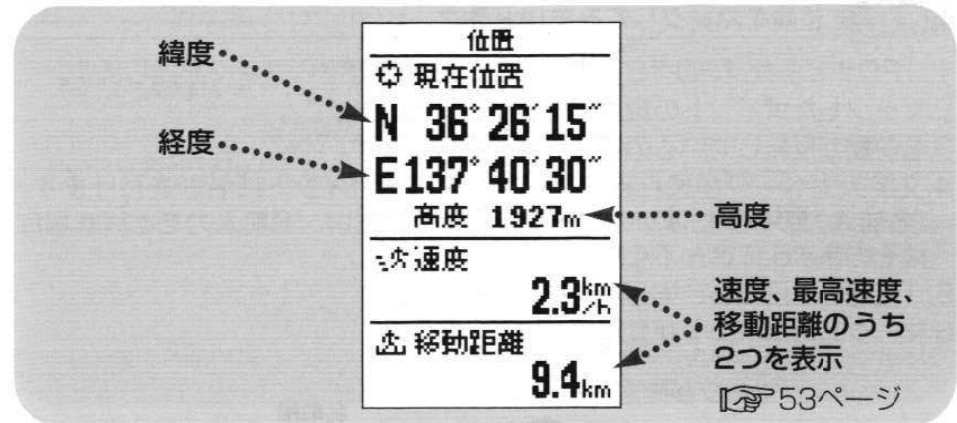
練習 2 画面を切り替えてみましょう。

- 1.カーソルで左上の「位置」を選んでください。
 - 2.実行キーを押します。
 - 3.画面が「位置ページ」に切り替わります。
- ※戻るキーを押すと、メインメニューに画面が戻ります。



緯度・経度を知る。—現在位置ページ

現在位置ページは現在いる場所の緯度・経度・高度や速度、移動距離に関する情報が数値で表示されます。



■緯度・経度の読みかた

上の画面で緯度・経度表示は北緯36度26分15秒、東経137度40分30秒と読みます。

緯度の表示 北緯・・・・N 南緯・・・・S

経度の表示 東経・・・・E 西経・・・・W

練習 数値の変化を見てみましょう。

- 1.画面を位置ページにしてください。
- 2.少し早足で歩いてみてください。緯度・経度や速度表示が変化するのがわかります。100m以上移動すると、移動距離の数値も変化します。
- 3.数値が変化するのがわかりましたら、戻るキーを押してメインメニューに戻ります。

⚠注意

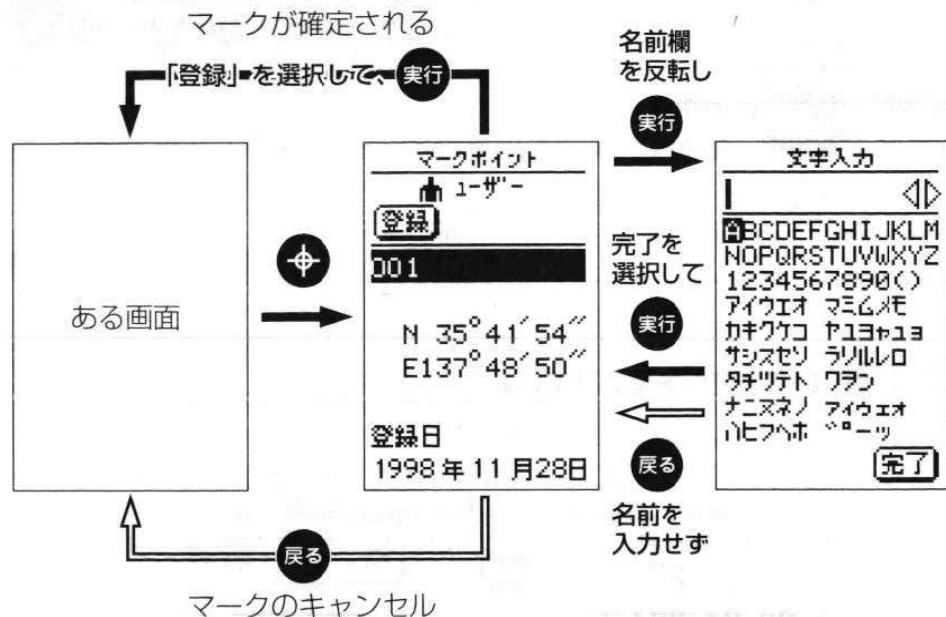
- ・GPSの特性上、高度の誤差は水平方向に比べて大きく、多いときで上下300m前後の誤差が出ますので高度計としては使用しないでください。
- ・衛星信号の受信状態によって速度の精度は変わります。また、ポケナビを持っている腕を振り動かすような急速な動きにも影響を受けます。

位置のマーク

ポケナビは位置をマーク（記録）して、ポイント（位置情報）として登録することができます。お気に入りの場所を登録するのに便利です。

練習 位置をマークしてみましょう。

1. 「2Dナビ」か「3Dナビ」になっている状態でマークキーを押します。
2. マークしたポイントの緯度・経度が表示されます。
3. 名前欄が反転しているので実行キーを押します。
4. 文字入力ページが現れるので、マークしたポイントに名前を付けます。
(名前入力のしかたは次のページをご覧ください。名前入力をとばす場合はそのまま5.に進んでください。)
5. 「登録」を反転し、実行キーを押します。
6. マークしたポイントが登録されます。



- ・マークしたポイントは、ユーザーポイントとして登録されます。
- ・マークしたときに名前を付けずに登録するだけでも3桁の数字名がついてポイントは保存されますので、とりあえずマークだけしておいて後から名前を付けることもできます。

ご注意

受信状態が2Dナビ以上の状態にならないと位置のマークはできません。

ポイントに名前を付ける。—文字入力ページ

マークしたポイントには自分で名前を付けられます。登録できる名前は「」,「**°**」を含めて10文字までです。



■選択



十字キー

- ・入力欄のカーソルを動かして文字を選びます。
- ・カーソルが入力欄の一番上の列にあるときに上を押すと矢印アイコンが反転し、カーソルが入力欄の一番下の列にあるときに下を押すと「完了」が反転します。

■確定



実行キー

- ・選択を確定し、反転している文字が入力されます。
- ・**◀**か**▶**を反転させて実行キーを押すと入力バーが移動します。
- ・「完了」を反転させて実行キーを押すと入力を完了します。

■消去、キャンセル



実行キー

- ・入力バーの1つ前（左）の文字を消去します。
- ・文字を全部消去した状態で押すと入力はキャンセルされ、文字入力ページの1つ前の画面に戻ります。

練習 文字を入力してみましょう。

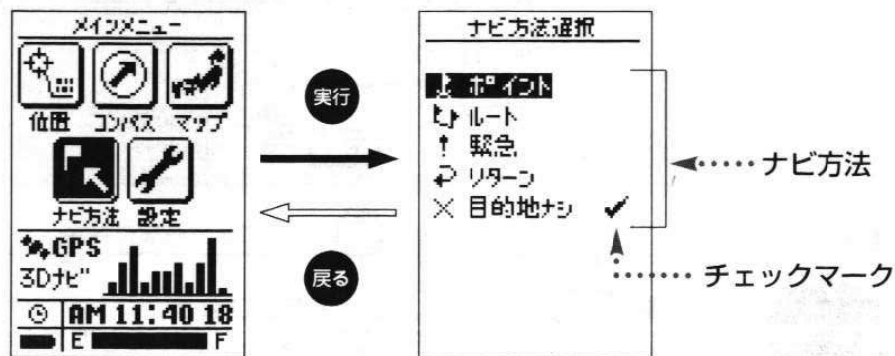
1. 十字キーで入力欄のカーソルを動かして文字を選びます。
2. 実行キーを押すと、表示欄に選択した文字が表示されます。戻るキーを押すと入力した文字が1つ消されます。

ナビ方法を選ぶ。—ナビ方法選択

ポケナビを使ってナビを行うために、目的地の設定をしましょう。設定は「ナビ方法選択」メニューから行います。

練習 ナビ方法選択メニューにする。

- 1.メインメニューで左下の「ナビ方法」を選択してください。
 - 2.実行キーを押します。
 - 3.画面が「ナビ方法選択」メニューに切り替わります。
- ※戻るキーを押すと、メインメニューに画面が戻ります。



■ナビ方法

ナビゲーション方法には次の5種類の選択肢があります。

- ① ポイントナビ 目的地を1箇所だけ設定して、直線的にナビゲーションを行います。
- ② ルートナビ 目的地だけでなく、途中の経由地まで設定してナビゲーションを行います。(☞ 38ページ)
- ③ 緊急ナビ 最後にマークした地点へのナビゲーションを行います。(☞ 47ページ)
- ④ リターンナビ 移動した軌跡を逆にたどるナビゲーションを行います。(☞ 45ページ)
- ⑤ 目的地ナシ 特に目的地を設定しない場合や、ナビゲーションを中止する場合はこれを選びます。初期設定では「目的地ナシ」が選ばれています。

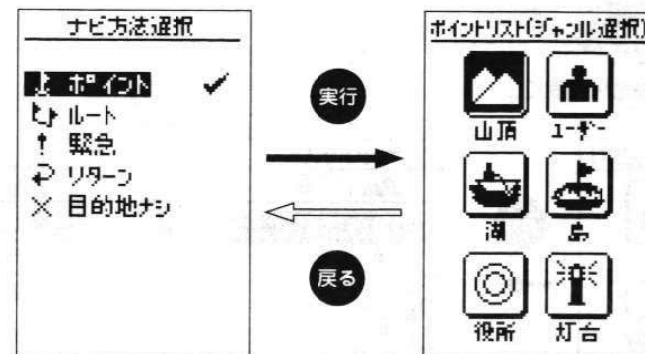
目的地を設定する。—ポイントナビ

ポイントナビは一番基本的でシンプルなナビ方法です。ポイントナビの目的地を設定する方法を練習してみましょう。

練習 1 ポイントナビを選択する。

- 1.ナビ方法選択で「ポイント」を選択してください。
- 2.実行キーを押すと「ポイント」の横にチェックマーク (✓) がつきます。
- 3.もう一度実行キーを押すと画面が「ポイントリスト (ジャンル選択)」というページに変わります。

☞ 練習2へ続く。



ご注意

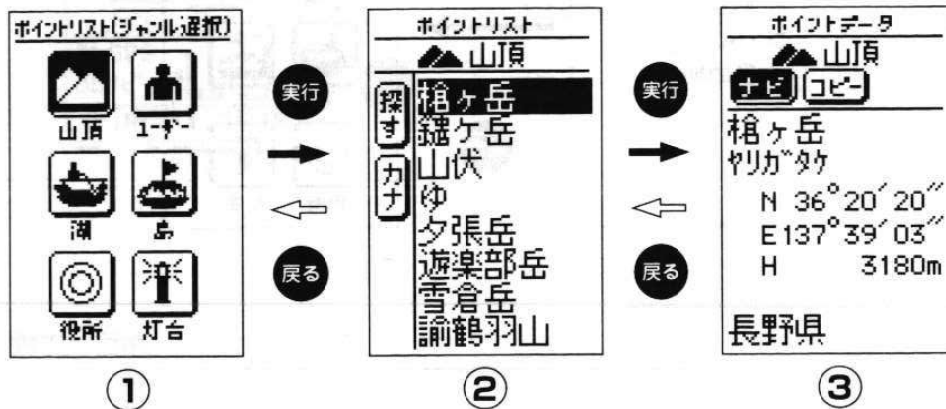
ポイントナビは途中の障害物や、道のある/なしに関わりなく目的地の方向だけを示します。

練習 2 目的地の選択 (1) —リストから検索する。

(前ページの練習1からの続き)

目的地はポイントリストの中から検索します。

- ジャンル選択で目的地にするポイントのジャンルを選択し、実行キーを押します。・・・①
- ポイント名が五十音順に並んだポイントリストが現れます。・・・②
- カーソルを上下に動かして目的地に設定したいポイントを探します。
- 探しているポイントが見つかったら、実行キーを押します。
- 選択したポイントのデータが表示されます。・・・③
「ナビ」を反転し、実行キーを押します。
- 画面はコンパスページに移り、ナビゲーションを開始します。
☞ 27ページへ続く。

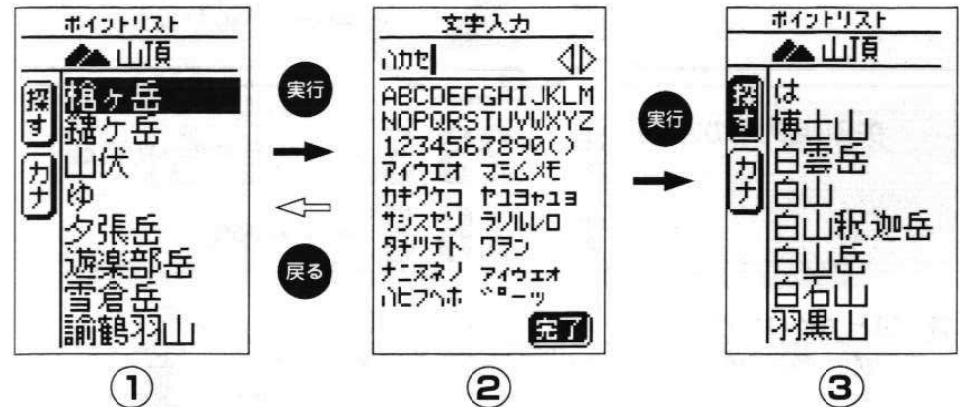


練習 3 目的地の選択 (2) —名前を入力して検索する。

ポイントリストを上下に動かして、1つ1つ探していくのは大変ですのでポイント名を入力して検索することもできます。

- ポイントリストで「探す」を反転して、実行キーを押します。・・・①
 - 文字入力ページが現れます。・・・②
 - 名前を入力します*。
 - 入力が終わったら「完了」を選び実行キーを押します。
 - 入力したポイントが含まれるリストが表示されます。・・・③
- *ポイント名を完全に打ち込まなくても、名前の先頭の方が一致しているものを表示します。

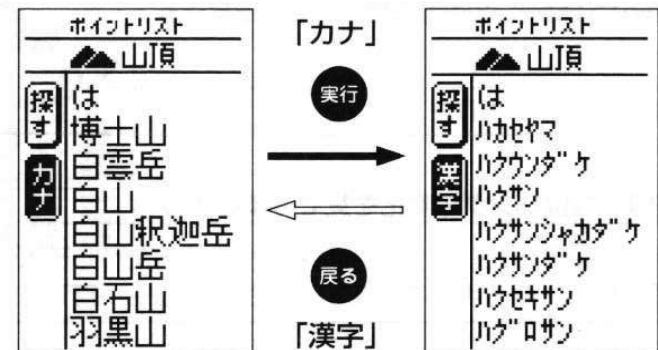
- 探しているポイントが見つかったら、実行キーを押します。
- 選択したポイントのデータが表示されます。
「ナビ」を反転し、実行キーを押します。
- 画面はコンパスページに移り、ナビゲーションを開始します。
☞ 27ページへ続く。



練習 4 リスト表示をカタカナにする。

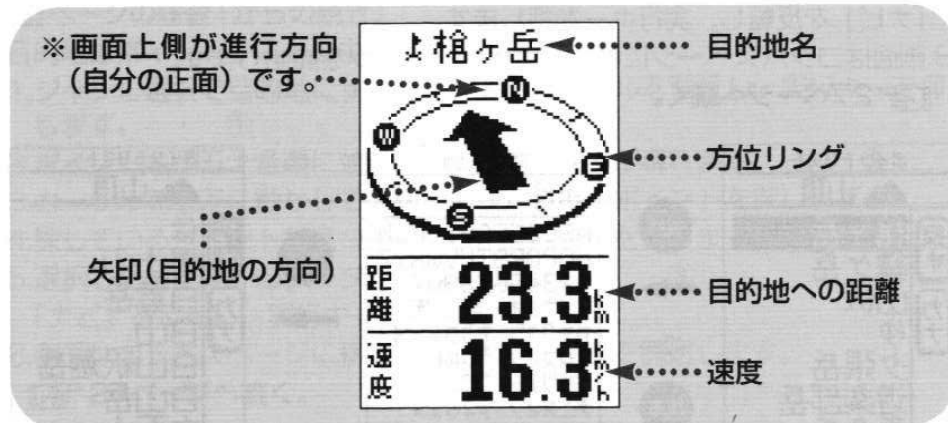
リストの中には読み方が難しい地名もありますので、ポイントリストをカタカナ表示に変えることもできます。

- ポイントリストで「カナ」を反転して、実行キーを押します。
- リストがカタカナ表示になります。
- 「漢字」を反転して、実行キーを押すと漢字表示に戻ります。



ナビゲーションをする。—コンパスページ

ナビゲーションはコンパスページで行います。立体的な矢印表示で目的地の方向がひと目でわかります。



■矢印と方位リング

- ・画面の上側を自分の進行方向(正面の方向)とします。
- ・矢印が目的地の方向を差します。矢印がまっすぐ上を向いているときは目的地に向かって直進しているということです。
- ・矢印は目的地ナシのときや、衛星を捕捉していないときは表示されません。
- ・方位リング上のN、W、S、Eは北、西、南、東を表します。

■目的地名

- ・ナビゲーションを設定した目的地の名前が表示されます。
- ・目的地ナシのときは表示されません。

■目的地への距離

- ・現在位置から目的地までの直線距離が表示されます。

■速度

- ・現在の移動速度が表示されます。

練習 矢印と方位リングの変化を見てみましょう。

1. 矢印の方向へ歩いてみたり、方向を変えて歩いてみたりしてください。
2. 変化を確認したら、戻るキーを押してメインメニューへ戻ります。

●見かたの例



- ①
目的地は左前方。
真北より少し西よりの方角に向かって進んでいる。



- ②
目的地は正面の方向。
ほぼ北北西の方角に向かって進んでいる。



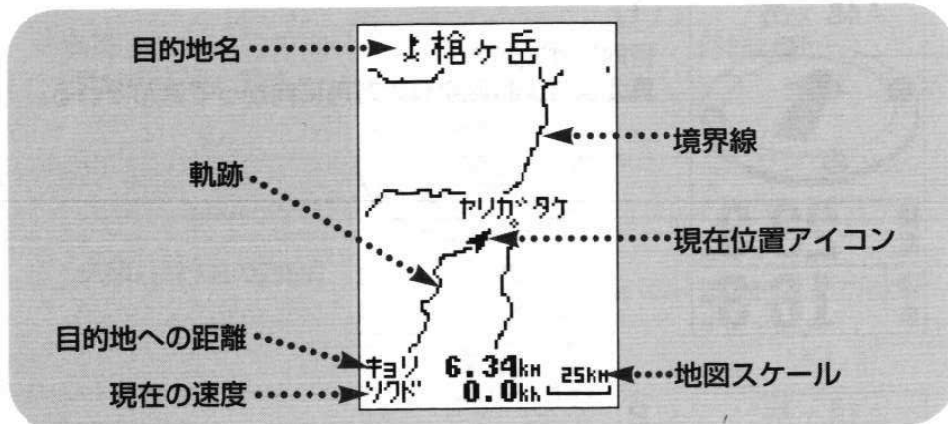
- ③
目的地は右後方。
ほぼ南南西の方角に向かって進んでいる。

ご注意

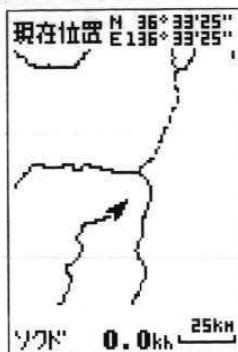
コンパスと方位リングは、速度が遅いときや停止しているときには正しい方向を表示できません。

位置関係を見る。—マップページ

マップページには都道府県境、海岸線やポイントが表示されます。ポイントの位置関係や自分の移動した軌跡がわかります。



■目的地名



←……目的地ナシのときの表示

- ・現在向かっている目的地の名前が表示されます。目的地名の前に付いているアイコンが選択されたナビ方法を表します。
- ・「目的地ナシ」に設定されているときは、左図のように現在位置の緯度・経度が表示されます。

■現在位置と進行方向

- ・衛星を捕捉しているときには、現在位置は三角形のアイコン(▲)で表示され、進行方向は三角形の向きで16方向に表されます。
- ・衛星を捕捉していないときには、最後に衛星を捕捉した位置が✦で表示されます。目的地への距離もそのときの距離で表示されます。

■軌跡

- ・自分が移動した軌跡が表示されます。(※全国図では表示されません。)

■境界線

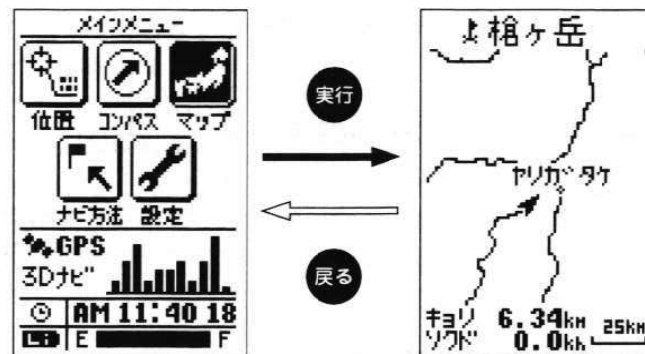
- ・海岸線、都道府県境、主な湖沼、島などが表示されます。

ご注意

三角形のアイコン(▲)は、速度が遅いときや停止しているときには正しい方向を表示できません。

練習 1 マップページにする。

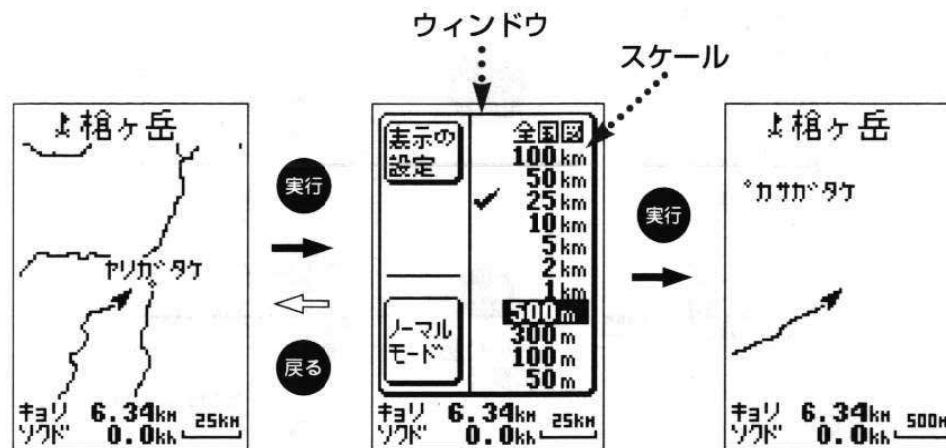
- 1.メインメニューで「マップ」を反転します。
- 2.実行キーを押します。



練習 2 マップのスケールを変える。

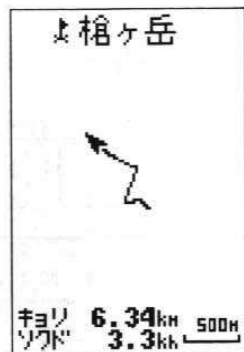
マップ表示は12段階に表示スケールを変更することができます。

- 1.マップページで実行キーを押します。
- 2.ウィンドウ(窓型に枠のついた画面)が現れます。現在選択されているスケールの横にチェックマーク(✓)がついています。
- 3.十字キーの上下でスケールを選択します。(次の練習のためにここでは500mより小さなスケールを選択してください。)
- 4.実行キーを押します。
- 5.マップページのスケールが変化して表示されます。☞練習3へ続く。



練習 3 少し歩いてみましょう。

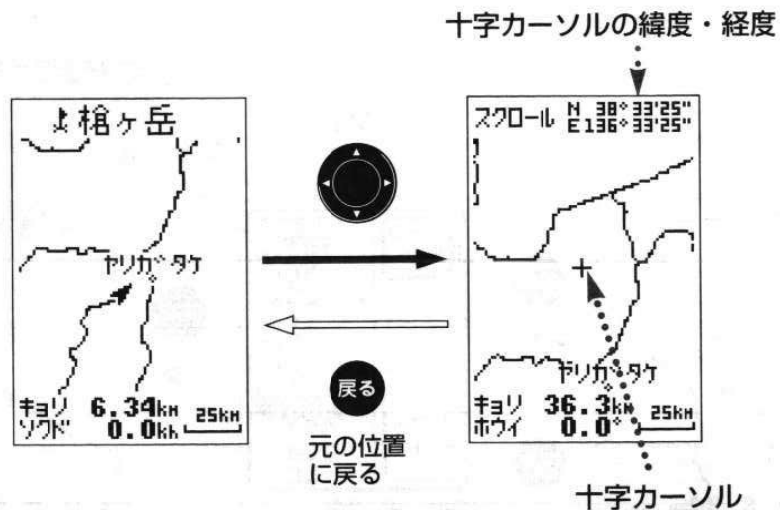
- ・20ページの現在位置ページの説明での練習で少し歩いた方は、歩いた軌跡が画面に描かれています。
- 軌跡が見えない方は練習2の方法でスケールをさらに拡大(50mや100mスケールに)してください。
- ・移動すると現在位置マークの後方に軌跡が延びていくのを見て取れるでしょう。(右の図はイメージ図です。)



練習 4 マップをスクロールさせる。

マップ表示は十字キーを使って上下左右に移動(スクロール)させることができます。

- 1.十字キーの上下左右どれかを押すと画面に十字カーソル(+)が現れます。
- 2.+が十字キーを押した方向へ動きます。
- 3.そのまま+を動かし続けていくとマップがスクロールしていきます。
- 4.戻るキーを押すと元の位置に戻ります。
- 5.もう一度戻るキーを押すとメインメニューに戻ります。

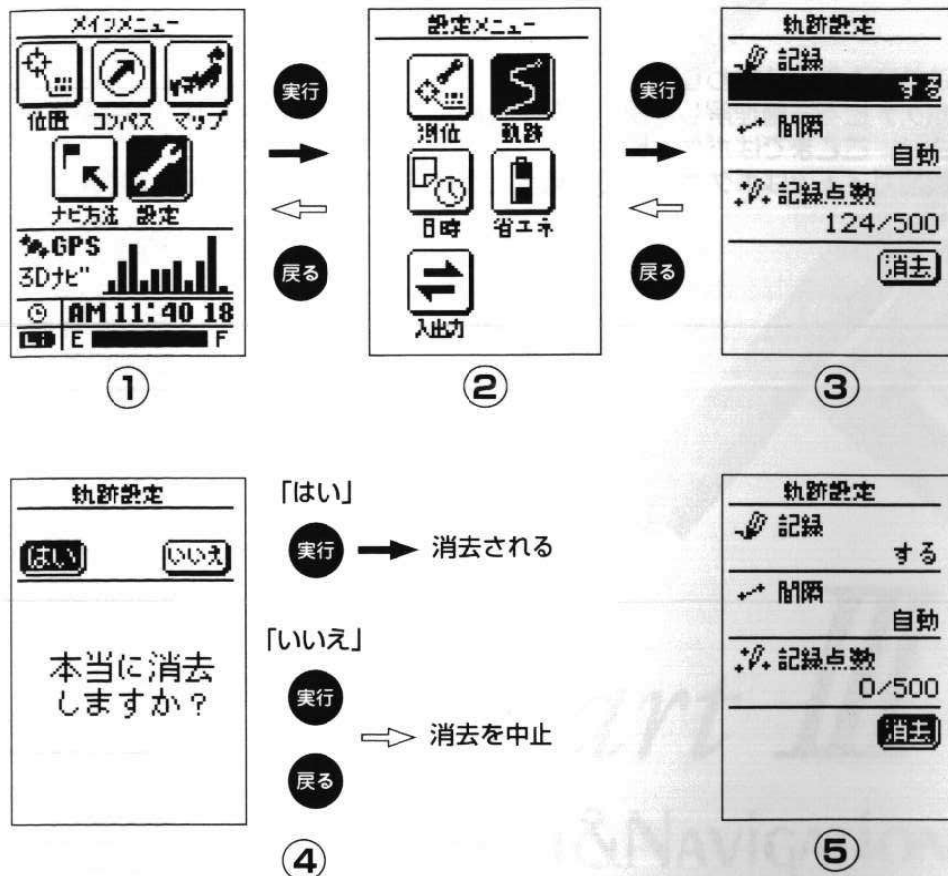


軌跡の消去のしかた

ここまで練習してきた方はマップページに今までの軌跡が描かれているでしょうが、ここで軌跡をいったん消しましょう。

練習 軌跡を消去するには

- 1.メインメニューで「設定」を選び実行キーを押します。・・・①
- 2.設定メニューが現れます。・・・②
- 3.十字キーでカーソルを動かして「軌跡」を選びます。
- 4.軌跡設定ページが現れます。・・・③
- 5.カーソルを動かして「消去」を反転し、実行キーを押します。
- 6.本当に消去するかを確認する画面が現れます。・・・④
- 7.「はい」が反転した状態で実行キーを押すと軌跡が消去されます。
- 8.軌跡設定ページの「記録点数」が0/500になります。・・・⑤



電源ボタンを
約3秒間押し
続けます。



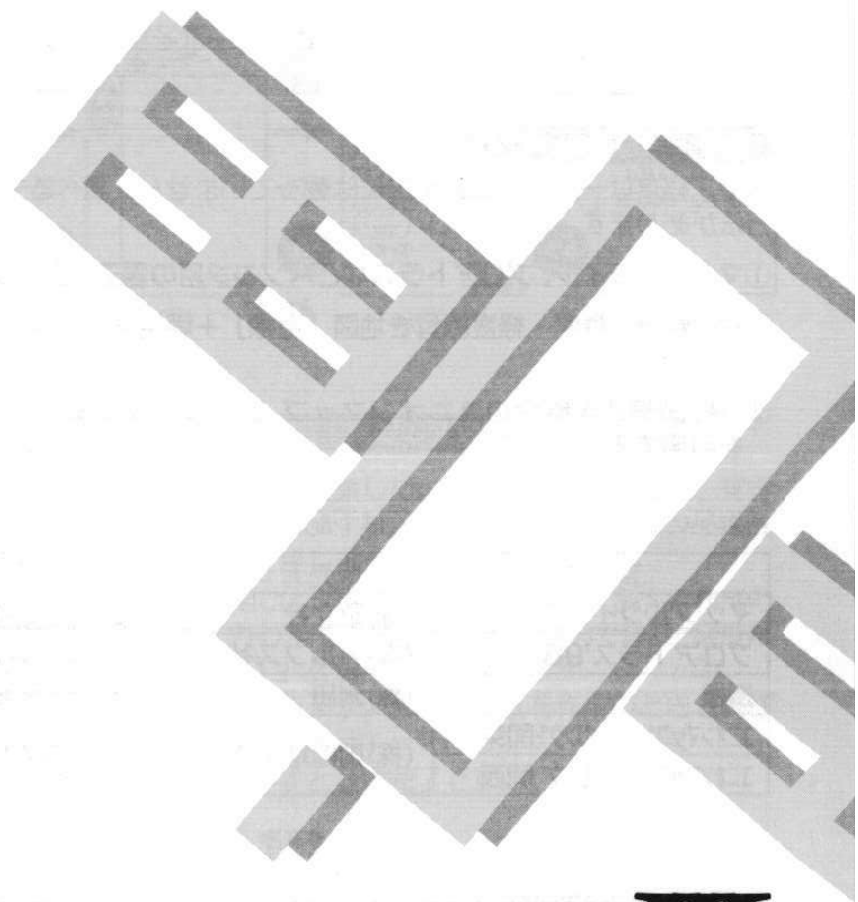
電源OFF

カウントダウンの
画面が現れます。

これで入門編は終わりです。

ポケナビを一層理解し、使いこなすために「機能ガイド」をぜひお読みください。ここまではポケナビのほんの一部の使い方に過ぎません。機能ガイドではポケナビの持つ機能と操作方法をくわしく説明しています。

3. ポイントとナビゲーション




Part III

POINT&NAVIGATION

ユーザーポイント

入門編では、あらかじめ登録されているポイントを目的地として設定する方法を紹介しましたが、自分でユーザーポイント（使用者のポイント）を登録することもできます。

- ・登録したい場所の緯度・経度がわかっている場合は、その緯度・経度を入力してポイントを登録します。
- ・250箇所まで登録できます。
- ・マーク位置（ 21ページ）もユーザーポイントとして登録されます。

緯度・経度の調べかた


緯度・経度は一般的な道路地図には載っていません。調べる方法として次の方法があります。

- ① マップライフ、プロアトラスなどパソコン用の電子地図ソフトで調べる。
- ② (株)測研そくけんの緯度・経度線付き地図「道標」+専用マップポインターみちしるべを利用する。
- ③ (株)国際地学協会のユニオンマップ ツーリング関東、ツーリング関西を利用する。

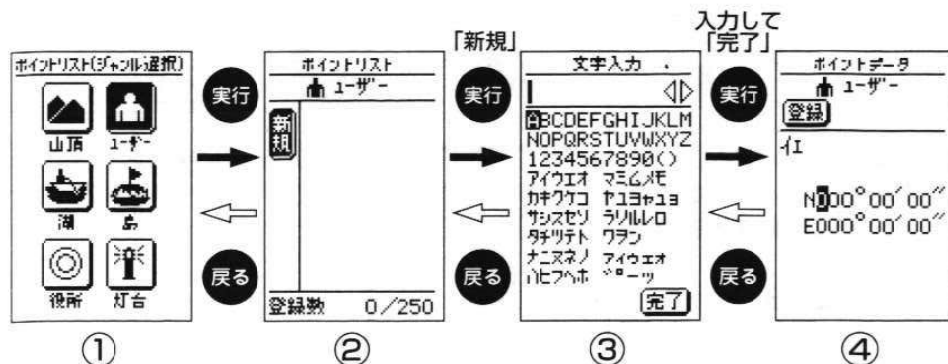
各製品のお問い合わせについては下記まで

製品名	販売元	お問い合わせ先
マップライフプロ'98	(株)昭文社	03-5625-4134
プロアトラス'98	(株)アルプス社	052-789-1500
道標	(株)測研	028-658-8368
エオンマップ [®] ツーリング [®] 関東	(株)国際地学協会	03-3267-6812
エオンマップ [®] ツーリング [®] 関西		

ユーザーポイントの作成

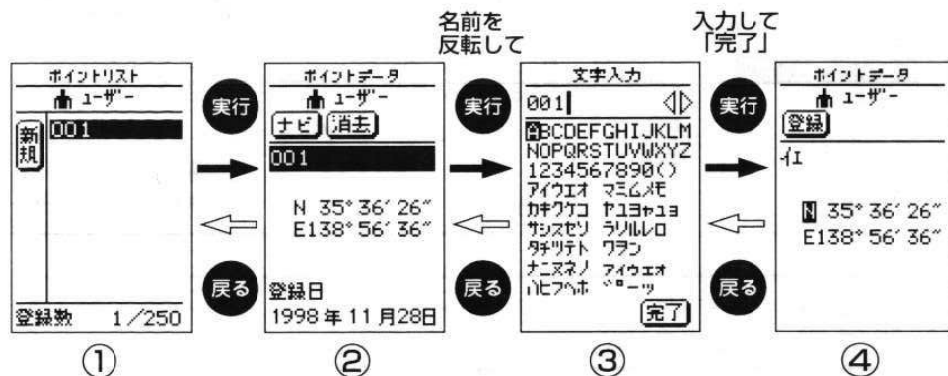
1. ポイントリストのジャンル選択から「ユーザー」を選び、実行キーを押します。・・・①
2. 「新規」を選び、実行キーを押します。・・・②
3. 文字入力ページが現れるので名前を入力します。（ 入力のしかたについては入門編の22ページ）・・・③
4. 入力が終わったら、「完了」を選び、実行キーを押します。

5. 緯度経度を入力するページが現れます。十字キーの左右でカーソルを動かし上下でNかS、WかEや数値を入力していきます。・・・④
6. 入力が終わったら実行キーを押します。
7. 「登録」が反転し、実行キーを押すと登録完了です。



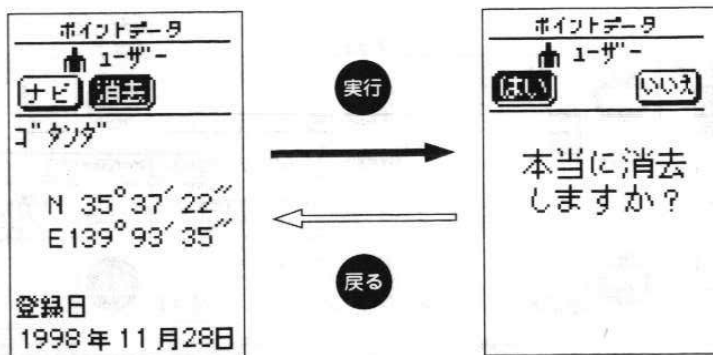
ユーザーポイントの編集（名前、緯度・経度の変更）

1. ユーザーポイントリストのページで編集したいポイント名を反転し、実行キーを押します。・・・①
2. ポイント名を反転し、実行キーを押します。・・・②
3. 文字入力ページが現れ、表示欄には変更前の名前が表示されます。作成のときと同様の操作で名前を入力します。名前を変更しないで緯度・経度だけ変更する場合はそのまま「完了」を選んで次へ進みます。・・・③
4. 緯度・経度を入力するページが現れます。緯度・経度を作成のときと同様の操作で入力し、入力が終わったら実行キーを押します。・・・④
5. 「登録」が反転し、実行キーを押すと登録完了です。



ユーザーポイントの消去

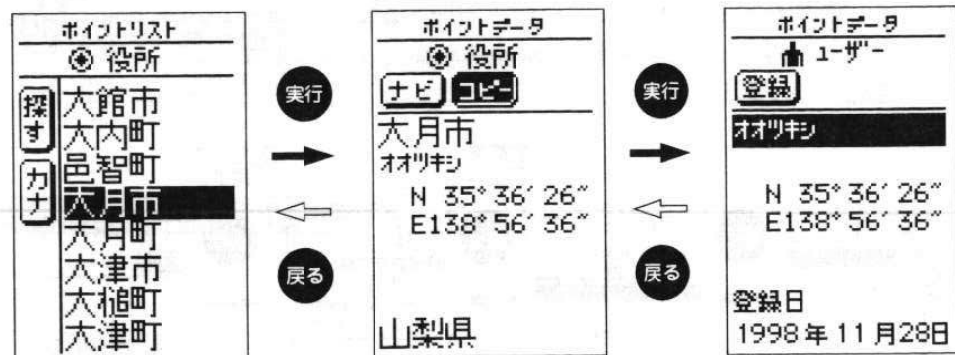
- 1.ユーザーポイントリストのページで消去したいポイント名を反転し、実行キーを押します。
- 2.ポイントデータで「消去」を反転し、実行キーを押します。
- 3.確認が現れるので「はい」を反転し、実行キーを押します。



ポイントのコピー

あらかじめ登録されているポイント（山頂など）をコピーしてユーザーポイントとして使用できます。

- 1.コピーするポイント名を反転し、実行キーを押します。
- 2.ポイントデータで「コピー」を反転し、実行キーを押します。
- 3.ジャンル表示が「ユーザー」になり、ポイント名が反転しているので、実行キーを押します。
- 4.作成や編集と同じ手順で名前の変更や登録を行います。



ご注意

ユーザーポイントからユーザーポイントへのコピーはできません。

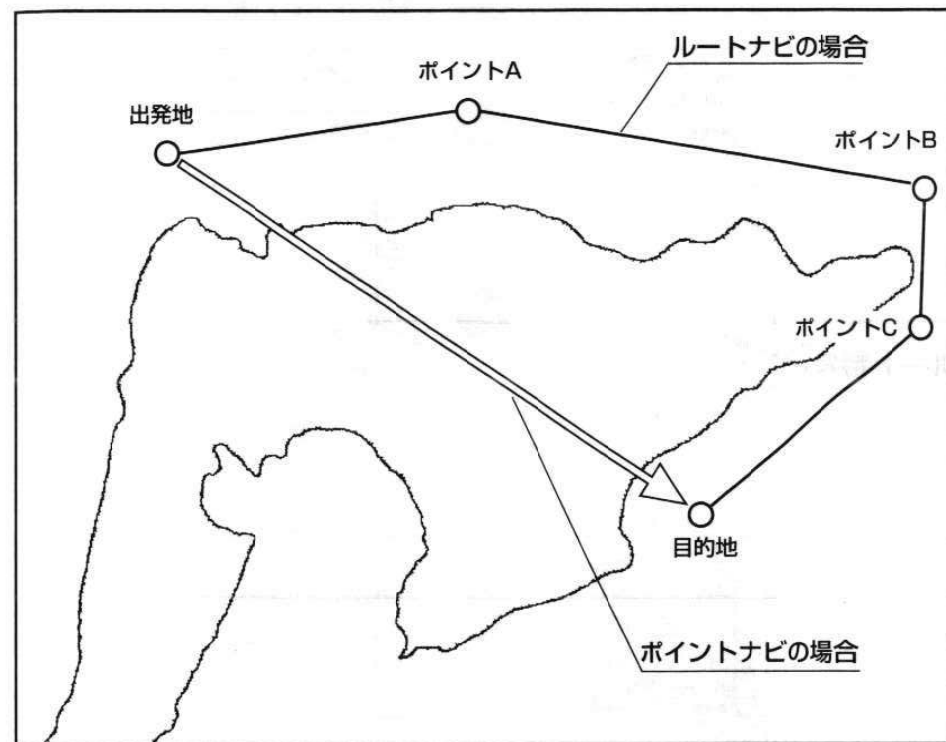
ルートについて

ルートナビとは目的地までの途中に経由地を設定してナビゲーションを行う方法です。

本機は30箇所までのポイントを登録できるルートを最大20ルートまで作成できます。

ポイントナビによるナビゲーションでは、出発地と目的地を直線で結んでしまうので、実際には通行できない場所も案内してしまいます。(例えばハイキングをするときに、避けなければならない湖があったとしても、目的地だけが設定されている場合、ポケナビは地形を無視して目的地の方向へ案内するだけです。)

しかし、あらかじめ目的地までのルートを計画して分かれ道のある場所や、曲がる場所などをポイントとして登録しておき、それらを結んだルートを作成しておけば、ポケナビはあなたの計画したルートを案内します。

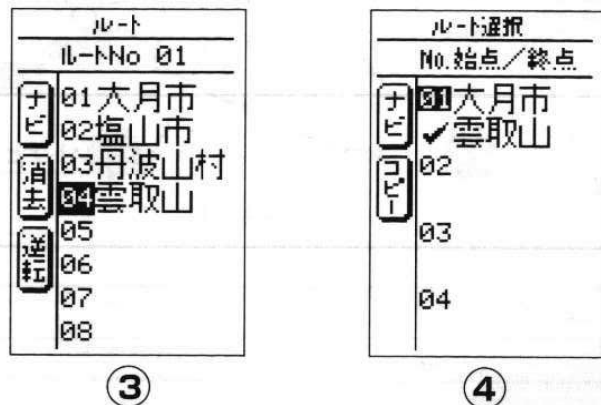
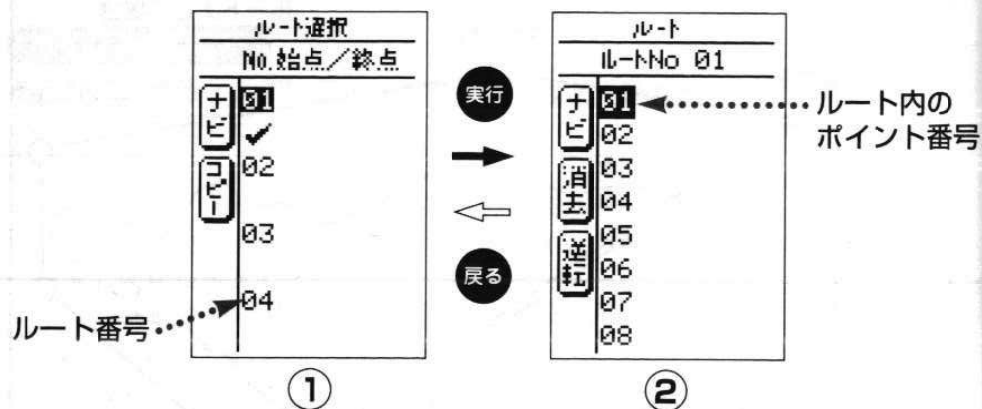


ルートの作成・編集

ルートの作成

ルートナビを行うために、まずはルートを作らなければなりません。ナビゲーションの計画を立てて、ルートを作りましょう。

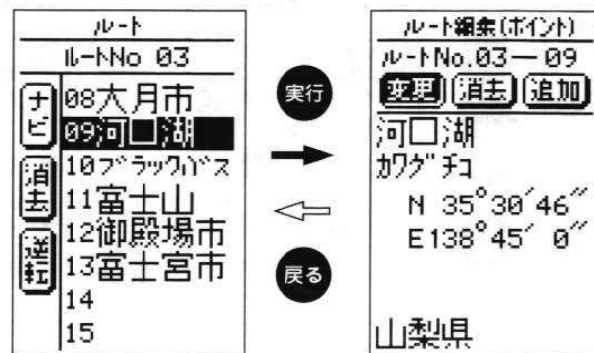
1. ナビ方法選択で「ルート」を選んで、実行キーを2回押します。
2. ルート選択ページに変わります。カーソルをルート番号のどれかに合わせ、実行キーを2回押します。・・・①
3. ルートページに変わります。経由地や目的地を順番に設定していきます。01番が反転しているので、実行キーを押します。・・・②
4. ポイントリストからルートに入れるポイントを探し、実行キーを押します。
6. ポイントのデータが表示されます。確認したら、実行キーを押します。
7. ルートの1番目のポイントが確定しました。2番目以降のポイントも同様に選択していきます。ルートのポイントを選択し終わったら、戻るキーを押します。・・・③
8. 始点/終点の欄には最初と最後のポイント名が表示されます。・・・④



ルートの作成

1度作成したルートを編集することもできます。

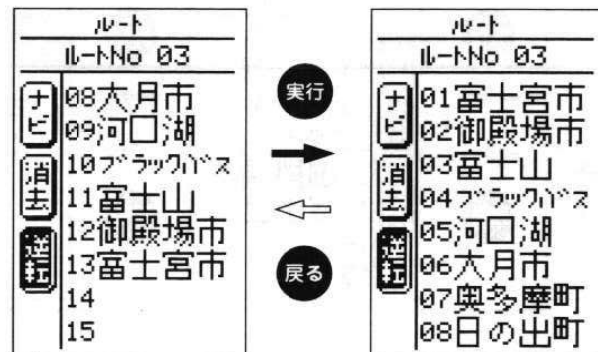
1. ルート選択ページでルート番号を反転し、実行キーを2回押します。
2. ルートページでポイント名のある番号を選択し、実行キーを押します。
3. ポイントデータのページになり、画面上部に「変更」、「消去」、「追加」のメニューが現れます。
4. 「消去」を反転し実行キーを押すとポイントがルートから消え、1つ順番が詰まります。
「変更」か「追加」を反転し、実行キーを押すとジャンル選択のページが現れます。あとはルート作成と同様の手順でポイントを選びます。
※「追加」は選択したポイントの前に追加するポイントが割り込みます。



ルートの順番の逆転

作成したルートの経路順を逆転することができます。

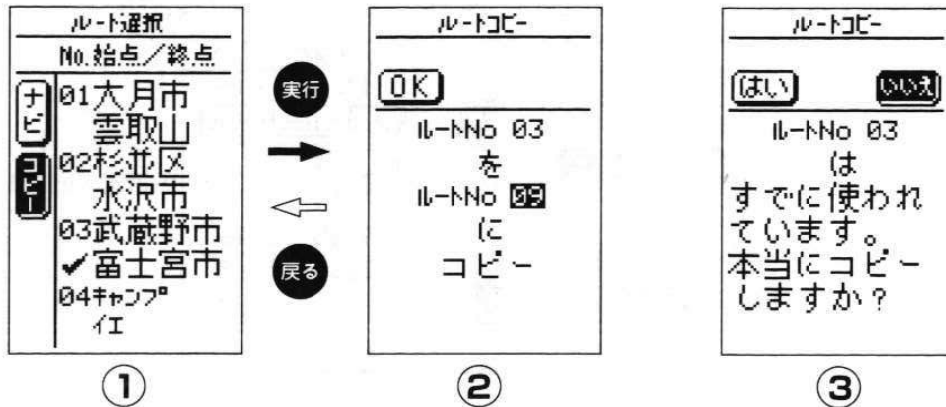
1. ルート選択ページで逆転させるルートを選びます。
2. ルートページで「逆転」を反転させて、実行キーを押します。
3. ルート内のポイントの順番が逆転します。ルート選択ページに戻ると、始点/終点のポイントが逆になっています。



ルートのコピー

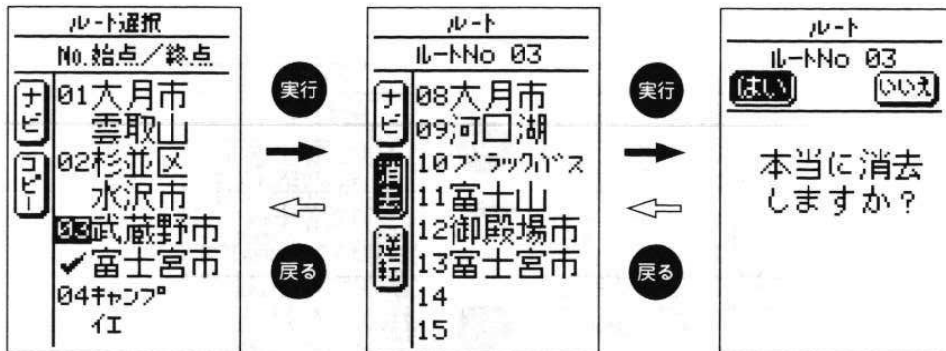
作成したルートの内容を利用して、別のルートを作成するときに便利です。

1. ルート選択ページでコピーするルートを選んで、実行キーを1回押します。
(コピーするルートにすでに✓がついている場合はそのまま)
2. 「コピー」を反転し、実行キーを押します。・・・①
3. どのルート番号にコピーするか尋ねてくるのでコピーする先のルート番号を選び、実行キーを押します。・・・②
4. 「OK」を反転し、実行キーを押します。
※すでに使用されているルート番号へコピーしようとする、確認の画面が現れます。・・・③



ルートの消去

1. ルート選択ページで消去するルートを選んで、実行キーを2回押します。
2. ルートページで「消去」を反転し、実行キーを押します。
3. 確認の画面が現れるので「はい」を反転し、実行キーを押します。



ルートナビ

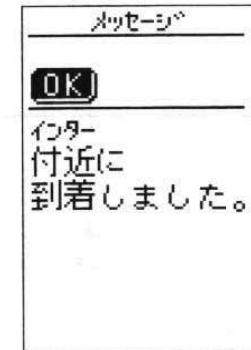
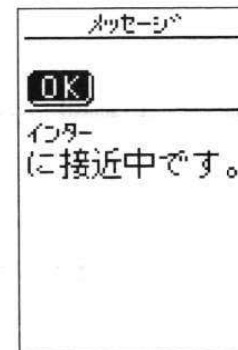
ルートが作成できたら、ポケナビにそのルートに従ってナビゲーションさせることができます。

ルートナビを行う

1. ナビ方法選択で「ルート」を選んで、実行キーを2回押します。
2. ルート選択ページで、ルート番号を選びます。✓がついている番号が使用ルートになります。
3. 「ナビ」を反転し、実行キーを押します。
4. 画面はコンパスページに移り、ナビゲーションを開始します。



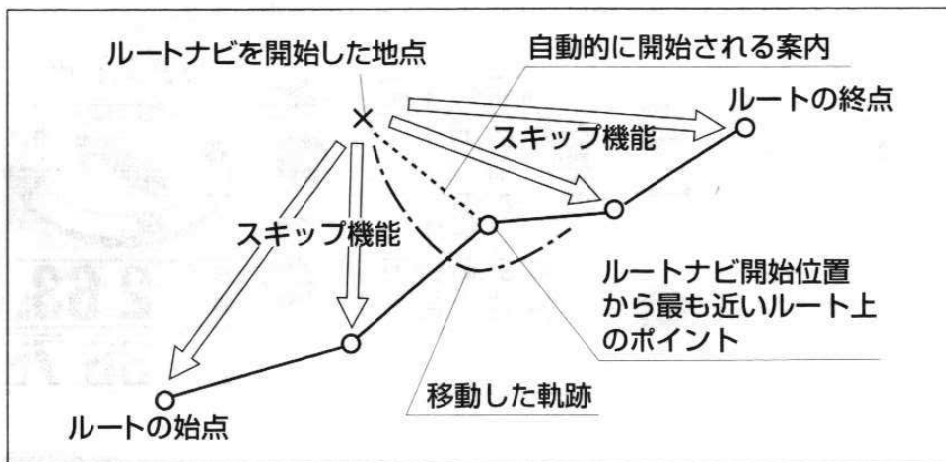
- ・ 目的地の半径300m以内に接近すると、「○○に接近中です。」のメッセージが表示され、目的地の半径100m以内に接近すると次の目的地へのナビを開始します。
- ・ ルートの最終目的地の半径100m以内に接近すると、「○○付近に到着しました。」のメッセージが表示され、ルートナビが終了します。



ルートのスキップ機能

ルートナビを開始すると、自動的に現在位置に最も近いルート上のポイントに向かって案内します。これはルートの始点に向かって案内しているとはかぎらないということです。

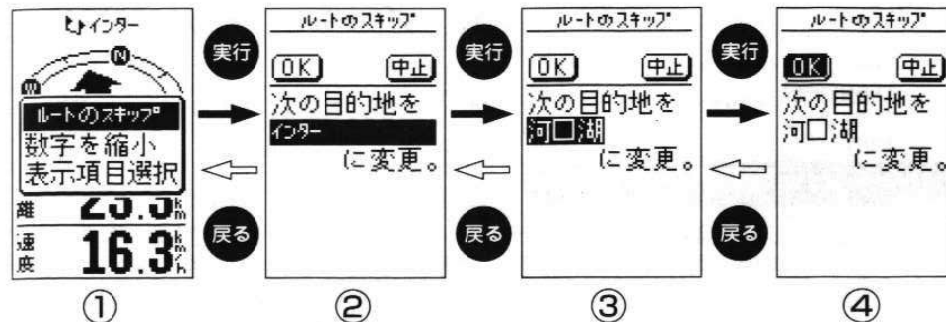
もしかしたら、ルートの終点に向かって案内しているかもしれないのです。下の図のようにポイントを通り過ぎず移動し続けた場合ポケナビは通過しなかったポイントへのナビを続けます。



- ・ ルート上の任意のポイントへ向かいたい場合は、スキップ機能を使います。
- ・ スキップ機能を使ってポイントに到着した後は、順番に従ってナビしていきます。(例：スキップで3番目のポイントに行った後は4、5、6…番目と進みます。)
- ・ スキップ機能で選択したポイントを通り過ぎると、自動的にルートの終点方向にある次のポイントへ向かって案内します。
- ・ スキップ機能を使えばルートナビの途中で、通過する必要がなくなったポイントをとばしたり、一度通過したポイントからナビをやり直すことができます。

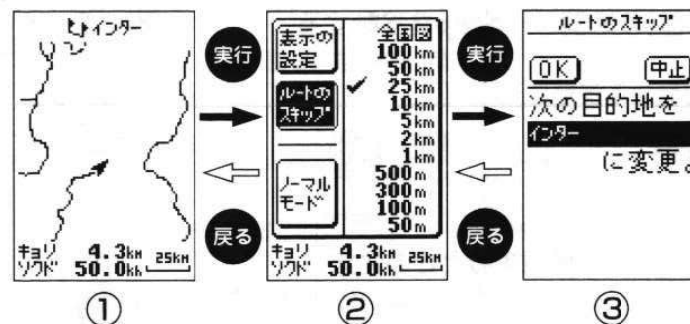
スキップ機能の使い方①—コンパスページから

1. ルートナビを開始します。
2. コンパスページで実行キーを押します。
3. 「ルートのスキップ」を反転し、実行キーを押します。・・・①
4. 目的地名が反転しているので実行キーを押し、十字キーの上下で目的地を選びます。・・・②
5. 目的地を選んだら実行キーを押します。・・・③
6. 「OK」が反転します。実行キーを押すと目的地が変更されます。・・・④



スキップ機能の使い方②—マップページから

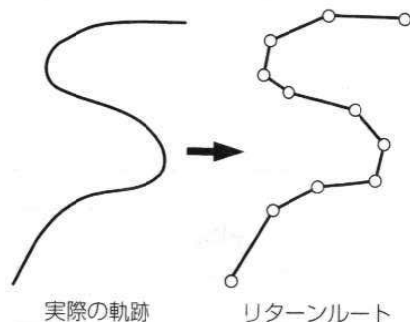
1. ルートナビを開始します。
2. 画面をマップページにします。・・・①
3. 実行キーを押すとウィンドウが現れるので「ルートのスキップ」を反転し、実行キーを押します。・・・②
4. ①番の4.~6.と同じ操作をします。・・・③



リターンナビ

リターンナビ機能は「通って来た道に戻る」機能です。ポケナビに記憶されている軌跡を使用して、素早く簡単にそれまでの経路を戻ることができます。

リターンルートはそれまでの経路を正確にたどるわけではなく、軌跡から最高30点を選び出し、それらを直線的につなぐルートを作成します。



リターンナビを行うための準備

リターンナビは、記録されている一番古い軌跡点を最終目的地にします。リターンナビを使う場合は、戻ろうとする出発点でその時まで記録された古い軌跡を消去することが大切です。(軌跡の消去のしかたは[設定]32ページ)



Step1 出発前の準備

- ・古い軌跡を消去する。
- ・マップを移動する距離に応じたスケールにする。
- ・軌跡設定ページの「記録」欄は「する」にしておく。(設定57ページ)



Step2 移動する

- ・移動して軌跡を記録する。



Step3 リターンナビで出発地へ戻る

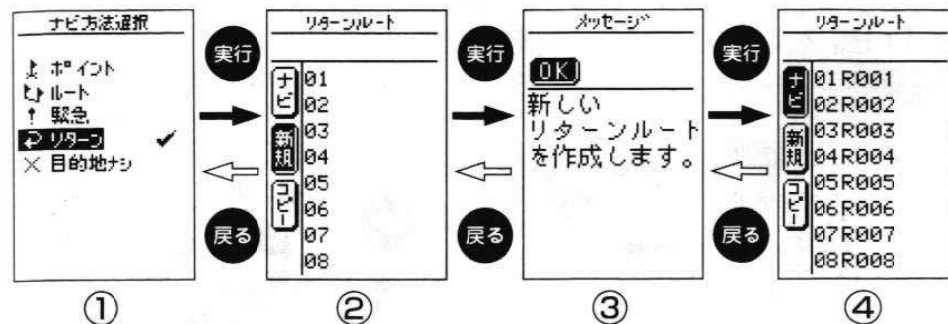
- ・リターンルートを作成する。
- ・リターンナビを行う。

■リターンルートを使用するときの注意

- ・リターンルートを作成するには軌跡の記録点数が2点以上必要です。
- ・軌跡設定ページの「間隔」欄が「自動」の場合、移動距離に対してマップのスケールが大きいとき(数キロ程度の移動で25、50、100kmのときなど)は軌跡の記録が1点か2点になりリターンナビができなくなります。

リターンナビを行う

1. ナビ方法選択ページで「リターン」を選んで、実行キーを押します。
 2. ✓がつくので、もう一度実行キーを押します。・・・①
 3. 「新規」を反転し実行キーを押します。・・・②
 4. メッセージ画面が現れるので、確認したら実行キーを押します。・・・③
 5. 軌跡からリターンルートが作成されます。・・・④
 6. 「ナビ」を選び、実行キーを押します。
 7. 画面はコンパスページに移り、ナビゲーションが開始されます。
- ※リターンナビもルートナビと同様にスキップ機能が使用できます。

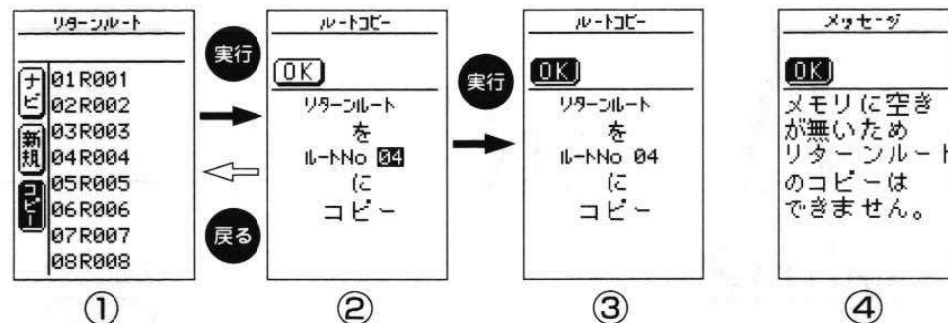


リターンルートのコピーする

新しいリターンルートを作成すると前回のリターンルートは消去されます。リターンルートを保存する場合は、普通のルートとしてコピーしておきます。

1. 「コピー」を反転し、実行キーを押します。・・・①
2. どのルート番号にコピーするか尋ねてくるのでコピー先のルート番号を選び、実行キーを押します。・・・②
3. 「OK」を反転し、実行キーを押します。・・・③

※リターンルートのコピーするときは、ユーザーポイントリストに30以上の空きがないとコピーできません。メモリに空きがない場合メッセージが表われます。・・・④



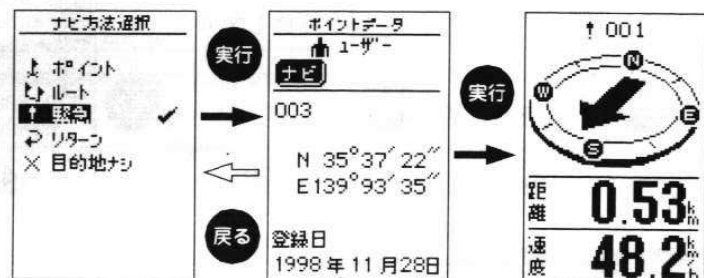
緊急ナビ

通過した地点に戻るために、一番最後にマークした地点を緊急ポイントとしてナビ設定を行う機能です。

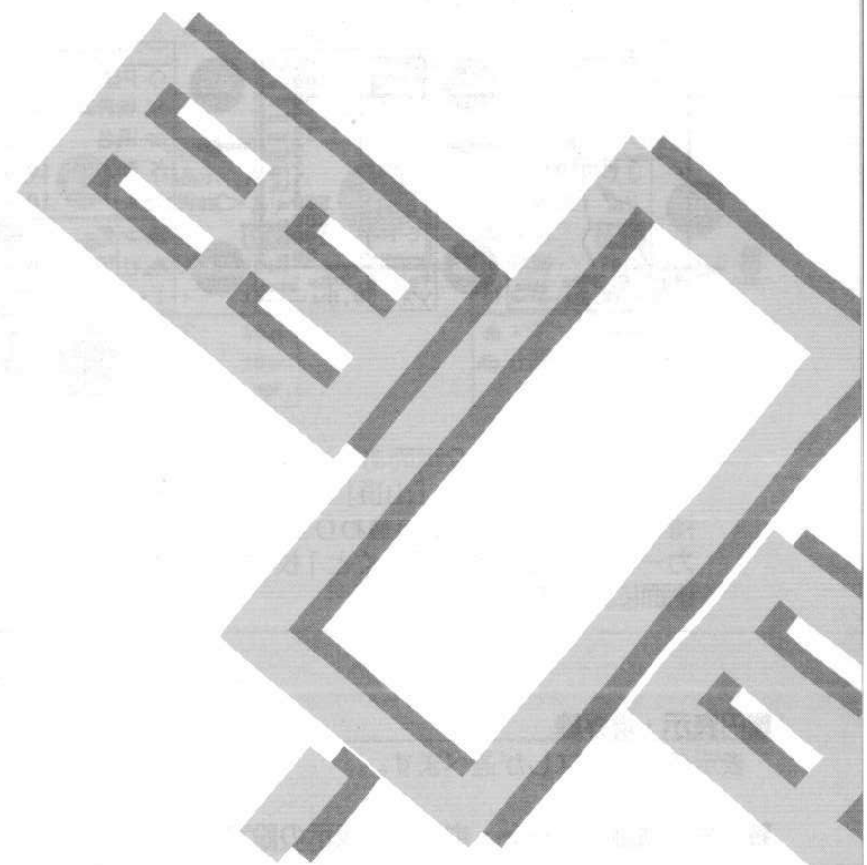
例えば、船に乗っていて何か物を海に落としてしまったというときに、そこでマークキーを押します。そして、緊急ナビ機能を使えばマークした地点までポケナビが案内します。

緊急ナビを行う

1. ナビ方法設定ページで「緊急」を選択します。
2. 「ナビ」を反転し、実行キーを押します。
3. 画面はコンパスページに移り、ナビゲーションが開始されます。



4. 表示変更と設定



Part IV

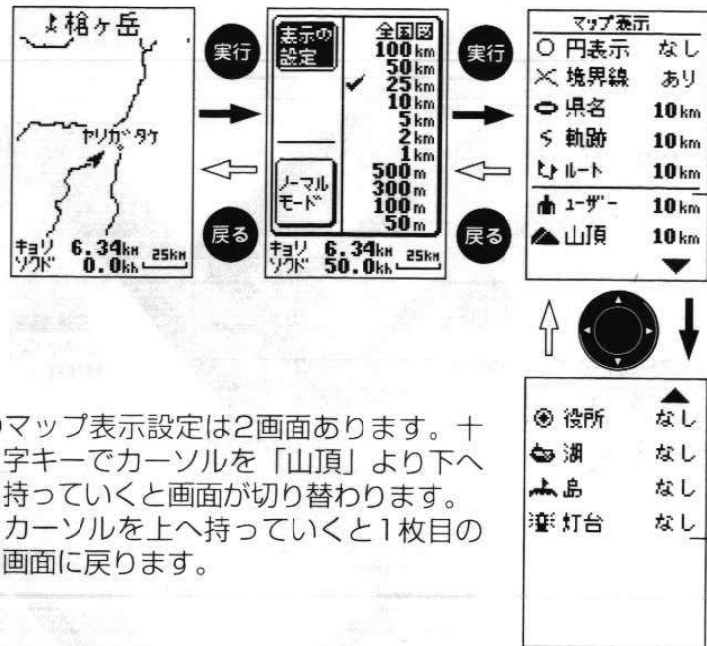
SETTINGS

マップページの表示変更

マップページの表示設定を変えることができます。

マップ表示設定を出す。

1. マップ画面で実行キーを押します。
2. カーソルで「表示の設定」を反転し、実行キーを押します。
3. マップ表示設定が現れます。



■円表示・境界線

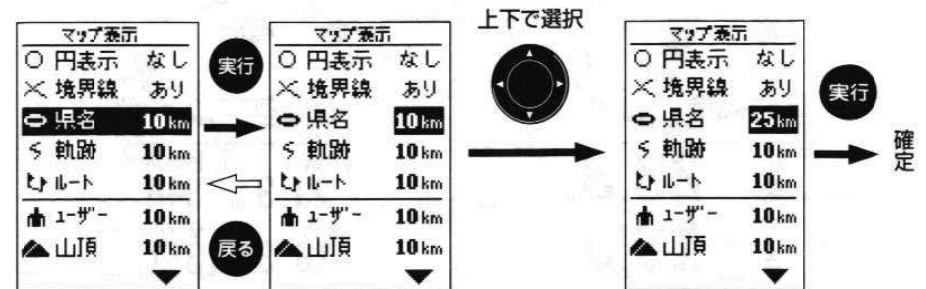
・表示のあり／なしが選べます。

■県名・軌跡・ルート・ポイント表示の設定

- ・どのスケール以下から表示するかをそれぞれについて選択します。「なし」を選ぶと表示されなくなります。(例えば図のように10kmが選択されている場合、10km～50mスケールでは表示されます。)
- ・ルートとはナビゲーションを行っている使用中ルートに含まれるポイントが表示されます。

表示変更のしかた

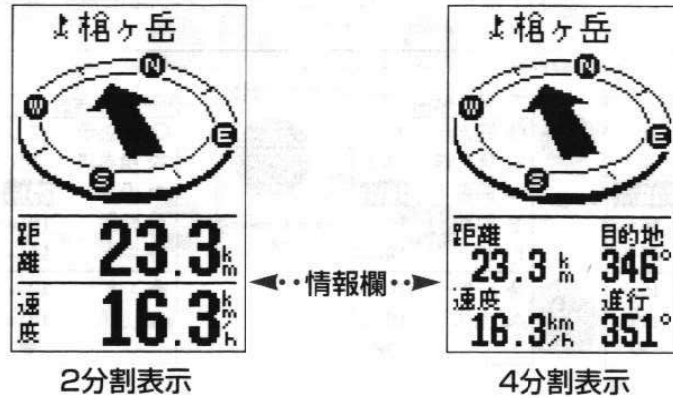
1. マップ表示設定でカーソルを動かし、変更したいものを選びます。
2. 実行キーを押すと反転が短くなります。
3. 十字キーの上下で設定を選択し、実行キーを押します。
4. 設定を終えるときは戻るキーを2度押してマップ画面に戻ります。



コンパスページの表示変更

コンパスページ下段の情報欄の表示を変えることができます。

- ・情報欄は数字が大きな2分割表示か、数字が小さめですが4つの情報を同時に表示できる4分割表示かを選ぶことができます。
- ・2分割表示のときは4つのうち2つを選択して表示します。

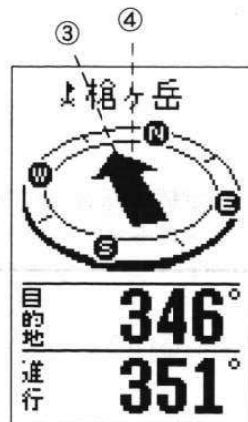


表示できる項目は次の4つです。

- ①速度、②目的地への距離、③目的地の方位、④進行方位



方位とは北を0°として時計まわりに設定しています。

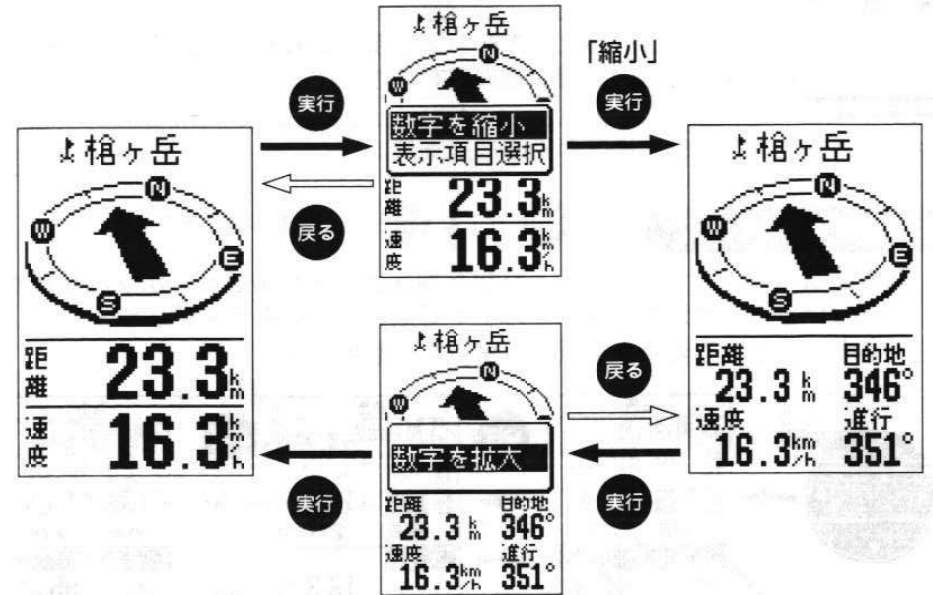


③目的地方位：
矢印の方向が目的地のある方位を差す。

④進行方位：
方位リングの上側中心が現在向かっている方位を差す。

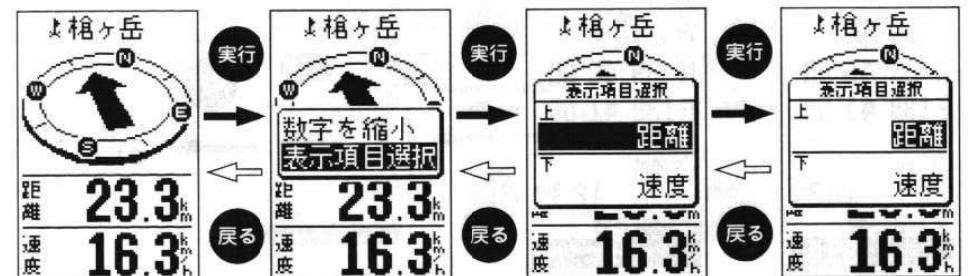
情報欄の4分割⇔2分割表示の変更

- 1.コンパス画面が2分割表示のときに実行キーを押します。
- 2.ウィンドウが現れ「数字を縮小」が反転しているので実行キーを押します。
- 3.情報欄が4分割表示になります。
- 4.実行キーを押すと「数字を拡大」が反転しているので実行キーを押します。
- 5.情報欄が2分割表示になります。



2分割表示のときの表示項目変更

- 1.コンパス画面が2分割表示のときに実行キーを押します。
- 2.ウィンドウが現れるので「表示項目選択」を反転し、実行キーを押します。
- 3.表示項目選択ウィンドウが現れるので、上段か下段を選んで実行キーを押します。
- 4.十字キーの上下で項目を選択して実行キーを押します。
- 5.戻るキーを押してウィンドウを閉じます。



現在位置ページの表示変更

現在位置ページの下2段の表示は速度、最高速度、移動距離の中から2つまでを選択して表示することができます。

■速度

現在の速度です。衛星を捕捉していないときは、最後に衛星を捕捉していた瞬間の速度が表示されます。最高350km/hまで計れます。

■移動距離

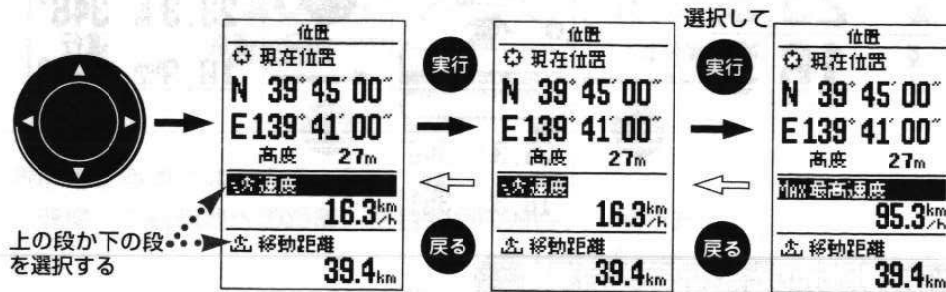
リセット（0に戻すこと）したときから現在までの移動距離。ただし、衛星が捕捉されていないときの距離は加算されません。

■最高速度

リセットしたときから、現在までの最高速度。

表示の変更のしかた

1. 現在位置ページで十字キーのどれかを押しとカーソルが現れます。変更する段のタイトル部分を十字キーの上下で選び、実行キーを押します。
2. 十字キーの上下で表示を選択し、実行キーを押します。



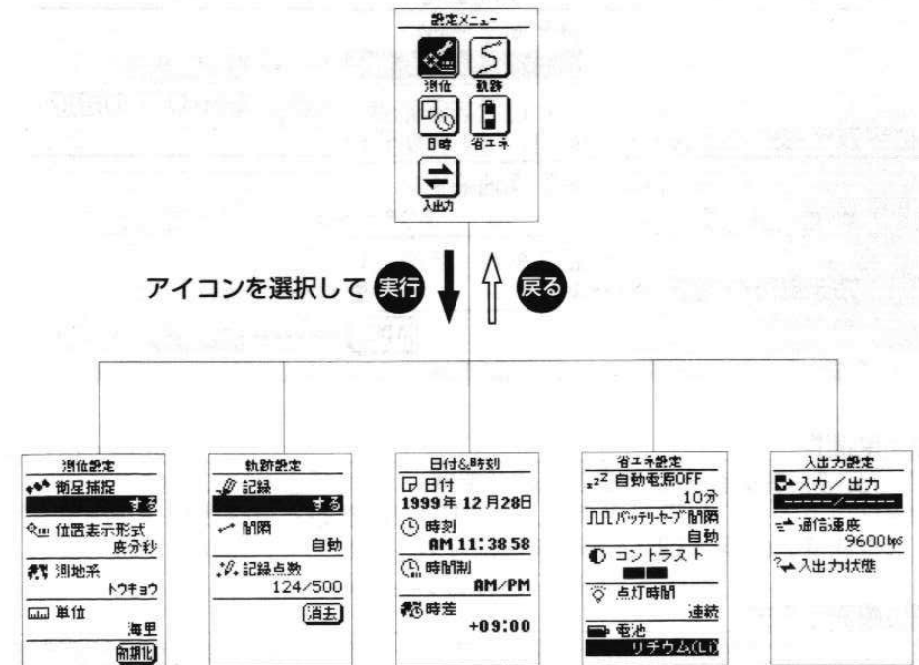
移動距離・最高速度のリセット

1. リセットする数値を選び実行キーを押すと「リセット？」と表示されます。
2. そこで、もう一度実行キーを押すとメッセージが現れます。
3. 「はい」を選び実行キーを押します。リセットを中止する場合は「いいえ」を選び実行キーを押すか、戻るキーを押します。



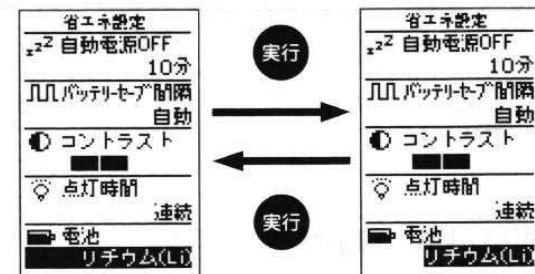
設定メニュー

ポケナビの操作や機能の設定をおこなうためのメニューです。各メニューは項目ごとに5つに分類されています。アイコンを選んで実行キーを押すことにより、各設定ページに移ります。



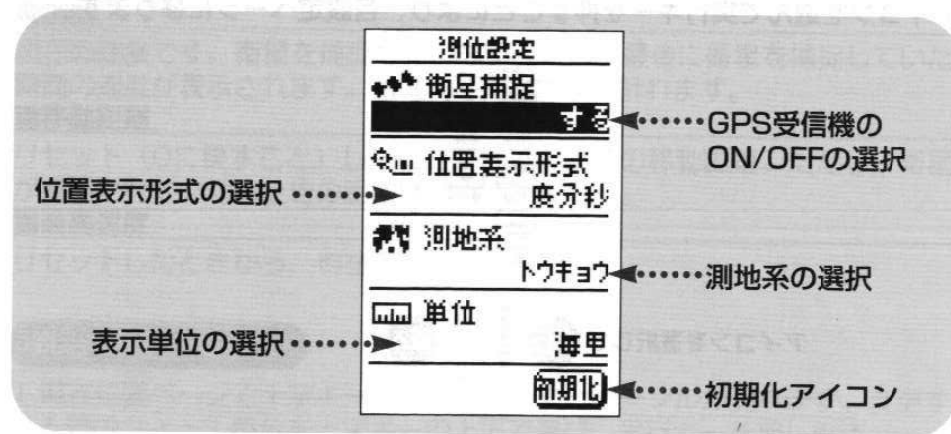
各設定ページの操作

1. 十字キーの上下でカーソルを動かし、設定したい項目を反転します。
2. 実行キーを押すと反転が文字の幅に縮まります。
3. 十字キーの上下で、設定内容を切り替えます。
4. 再び実行キーを押すと、内容が確定して反転が広がります。



測位設定ページ

ポケナビの心臓部であるGPS受信機の設定を行うページです。



■衛星捕捉

「する」、「しない」のどちらかを選びます。通常は「する」にしておきます。「しない」にするとシミュレーターモードになります。(☞ 63ページ)

■位置表示形式

度、度分、度分秒の3種類から選べます。一般的には度分秒を使用します。

■測地系

使用する地域に合わせて設定を変えます。(☞ 83ページ 測地系一覧表) 間違った測地系を使用すると、衛星の捕捉がしにくくなり精度も低下します。日本国内で使うときは「トウキョウ」にしておきます。

■単位

距離の単位を設定します。単位はメートル (km、m)、マイル(Mi)、海里(nM)から選べます。距離の単位を選択すると、速度の単位もそれに合わせてそれぞれ、km/h(kh)、マイル/h(MhまたはMi/h)、ノット(kn)に変化します。また高度の単位は、距離の単位がメートルと海里のときはメートル、マイルのときはフィート (ft)になります。

■初期化アイコン

GPS受信機を初期化します。(☞ 61ページ)

日付と時刻ページ

日付と時刻が表示されます。また、時刻表示の時間制の設定と標準時からの時差の選択を行います。



■日付・時刻

ポケナビのカレンダーと時計は、衛星から送られてくる時間情報を受けて、補正されるので調整する必要がありません。しかし、衛星を捕捉していないときや電源を切っている時間の長かったときは正しく表示されなかったり、全く表示されないこともあります。

■時間制

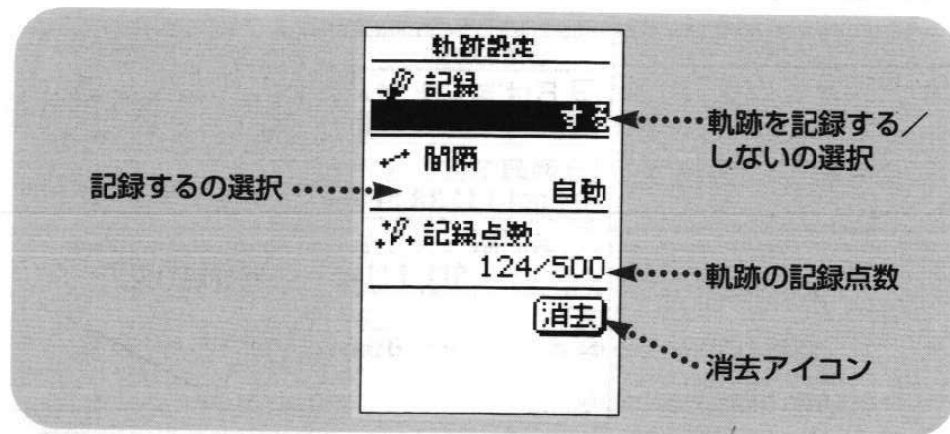
時刻表示を24時間制か、AM/PMの12時間制が選択できます。

■時差

衛星から送られてくる時間情報はグリニッジ標準時（イギリスのグリニッジ天文台の子午線を基準とした時間）なので、使用する地域に合わせて時差を設定します。日本は+9:00です。(☞ 86ページ 時差一覧表)

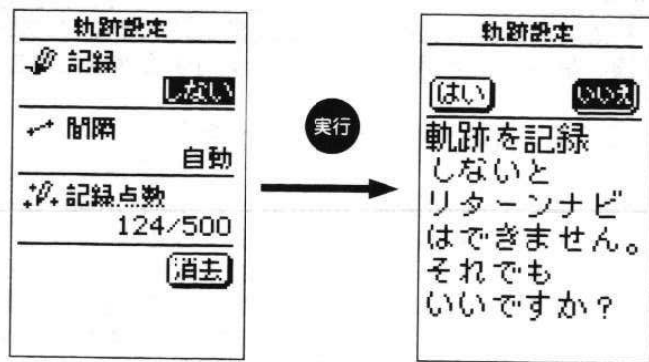
軌跡設定ページ

マップ画面に表示される軌跡の設定を行うページです。軌跡の消去もこのページで行います。



■記録

- ・「する」、「しない」のどちらかを選びます。通常は「する」にします。
 - ・「しない」を選択すると下のような確認の画面が現れます。確認の画面で「はい」を選択し、実行キーを押すと軌跡は記録されなくなります。
- ※軌跡を記録しないとリターンナビができません。

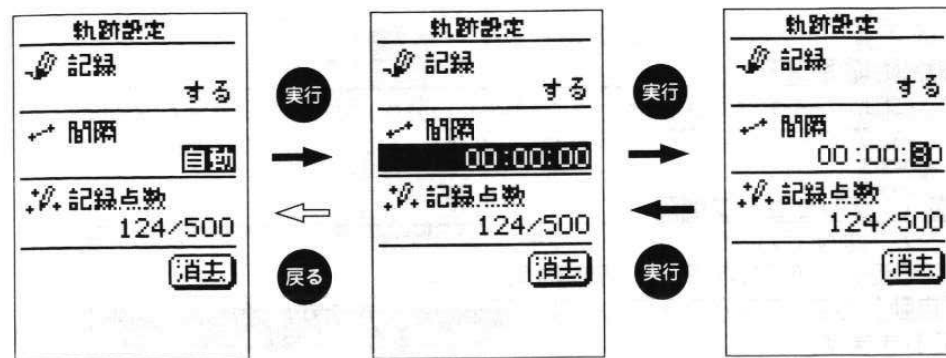


■間隔

- ・軌跡点を記録する時間間隔を設定します。通常は「自動」にします。
- ・自動の他に記録する一定の時間間隔を設定することもできます。一定の時間間隔での記録は大きな船など、あまり速度も進行方向も変化しない移動に便利です。

軌跡を記録する間隔を設定するには

1. 間隔欄を反転させ、実行キーを押します。
2. 初期設定では「自動」になっていますので、十字キーの上下で時・分・秒表示(初期設定では「00:00:00」)を出し、実行キーを押します。
3. カーソルが数字の幅に縮みます。十字キーの左右でカーソルを移動し、上下で数字を変更します。
4. 設定が完了したら、実行キーを押します。



■記録点数

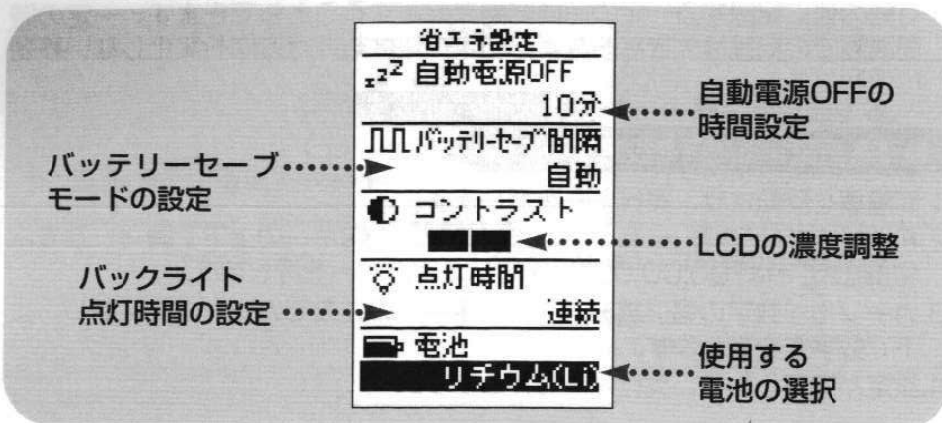
記録されている軌跡点の数です。最大500点まで記録でき、それ以上になると古い点が消去され、新しい点が記録されていきます。

■消去アイコン

記録されている軌跡を消去します。(☞ 32ページ)

省エネ設定ページ

電池やLCD画面に関する設定を行うページです。



■自動電源OFF

ポケナビのスイッチ操作を一定時間以上しないと自動的に電源が切れるように設定できます。設定時間は10分、20分、30分、なしの4段階です。

■バッテリーセーブ間隔

マップ画面でバッテリーセーブモード (☰ 63ページ) を使う場合のGPS受信機をON/OFFする間隔を設定します。

「自動」か2~99分の任意の時間間隔を設定できます。通常は「自動」にしておきます。

■コントラスト

画面の濃淡を4段階に調節できます。

■点灯時間

バックライトの点灯時間を設定できます。

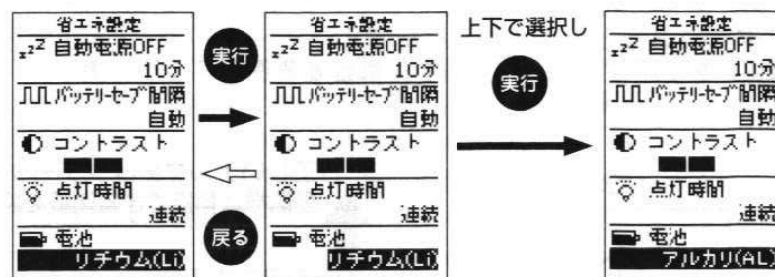
設定時間は15秒、30秒、1分、2分、4分、連続の6段階です。

■電池

使用する電池の種類を設定します。正しく設定しないとメインメニューの電池残量表示が不正確になります。

電池の種類を設定するには

- 1.電池の欄を反転し、実行キーを押します。
- 2.十字キーの上下で使用する電池の種類を選び実行キーを押します。



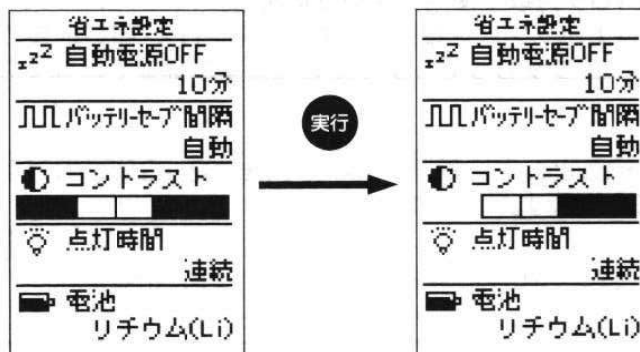
電池マーク……

- 選択した電池の種類に合わせてメインメニューの電池マークが変わります。

リチウム ———— **Li**
 アルカリ ———— **AL**
 ニッケル水素 ———— **NH**
 ニッカド ———— **NC**

LCDのコントラストを調整するには

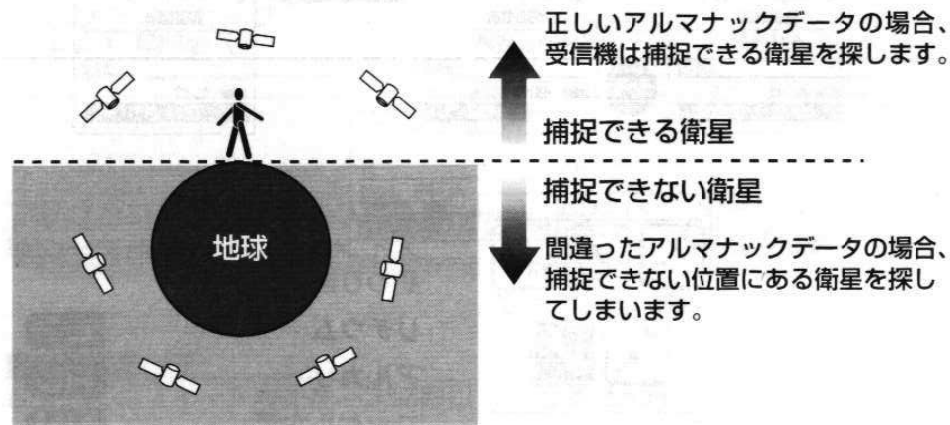
- 1.コントラストの欄を反転し、実行キーを押します。
- 2.コントラスト調節のバーの長さを十字キーの左右で変え、段階を選びます。
- 3.実行キーを押すと、コントラストが変わります。



GPS受信機の初期化

■衛星を捕捉するための情報—アルマナックデータ

GPS受信機は水平より上にある人工衛星しか捕捉することができません。そのため、ある時刻にどの衛星がどこを通過するかを知る必要があります。GPS受信機はメモリーに記憶されたアルマナックデータ（人工衛星軌道の時刻情報）を使用することによって、捕捉する衛星を決定します。



■初期化が必要な場合

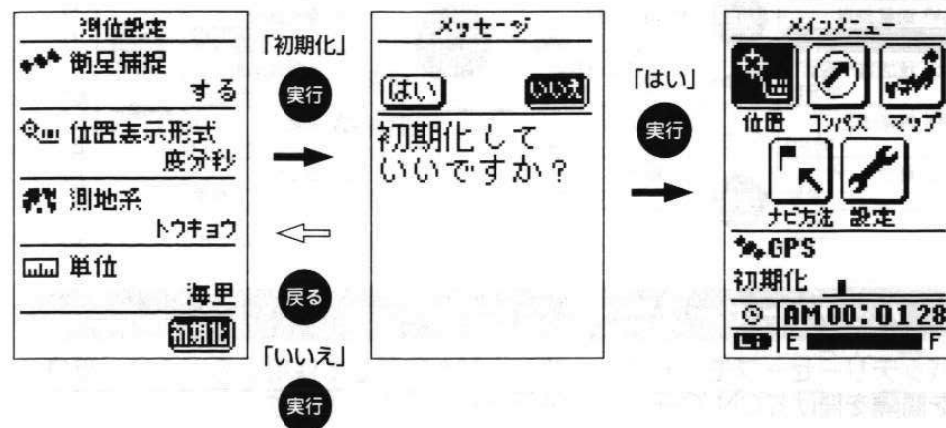
初期化は、以下の状態のとき必要となります。

- ①一度も衛星捕捉をせずに1000km以上離れた場所へ移動したとき。
電源を切った状態で1000km以上離れた場所へ移動してしまうと、アルマナックデータが違う地域のものになってしまうので、受信機は捕捉できない衛星を捕捉しようとしてしまいます。
- ②ポケナビを10ヶ月以上使用しなかった場合。
また10ヶ月以上ポケナビを使用しなかった場合も、同じ地域であってもアルマナックデータが変わってしまうために衛星が捕捉できなくなることがあります。

1度初期化を行うと、次に電源を入れたときは2～3分以内で衛星捕捉が完了するようになります。

初期化のしかた

- 1.日付と時刻ページで使用する場所に合わせた時差を設定します。
- 2.画面を測位設定ページにします。
- 3.使用する場所に合わせた測地系を設定します。
- 4.カーソルで画面の一番下にある「初期化」を反転し、実行キーを押します。
- 5.初期化を行うかどうかの確認の画面が現れます。
- 6.初期化を行うのであれば「はい」を反転し実行キーを押します。
中止する場合は、戻るキーを押すか、「いいえ」を反転し実行キーを押します。
- 7.「はい」を選ぶとメインメニューに変わり、「初期化」と表示されます。



ご注意

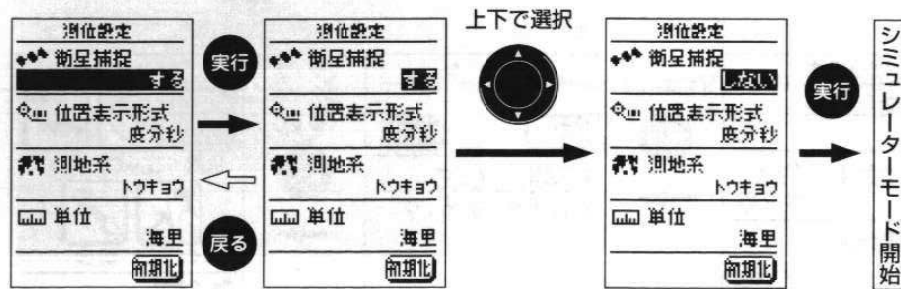
- ・初期化には通常10分以上、長いときで40分程度かかる場合がありますので、初期化が必要な場合をよく理解してから行ってください。
- ・初期化中はポケナビを空を遮るものが少ない、視界の開けた場所へ置いてください。

シミュレーターモード

GPS受信機の作動を停止するモードです。電池消費が少ないので、室内で練習するときや、ポイントやルートの編集を行うときなど衛星を捕捉する必要がないときはこのモードにしておくといでしょう。

シミュレーターモードの開始・解除

1. 測位設定ページで「衛星捕捉」の欄を反転し、実行キーを押します。
 2. 十字キーの上か下を押して「しない」を選択し、実行キーを押すとシミュレーターモードになります。
 3. 解除するときには「衛星捕捉」の欄を「する」にします。
- ※シミュレーターモードのときは、メインメニューの受信状態表示に「シミュレーター」と表示されます。

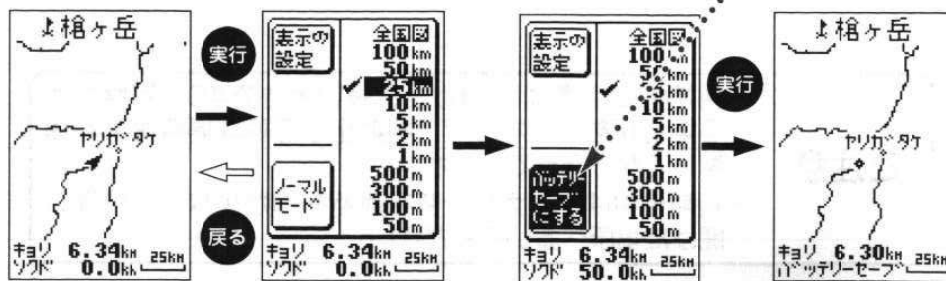


バッテリーセーブモード

バッテリーセーブモードはマップページを表示して使用するとき、受信機を間隔を開けてON/OFFし電池消費を抑えるモードです。

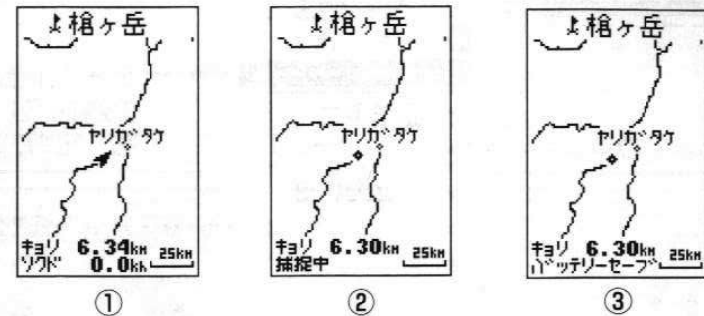
バッテリーセーブモードの開始

1. マップ画面で実行キーを押すとウィンドウが現れます。
2. カーソルを「ノーマルモード」に合わせると「バッテリーセーブにする」と反転表示されます。
3. 実行キーを押すと、マップ画面になります。



●バッテリーセーブ時の表示と操作

- ・バッテリーセーブモードのときは受信機の状態によってマップ画面下部の速度欄の表示と位置の表示が変化します。
- ・②と③の場合は最後に衛星を捕捉した位置と、そのときの目的地への距離を表示します。また、そのときはマークキーが使用できません。



受信機の状態	速度欄の表示	位置表示	マークキーの使用
① ON：2Dナビ/3Dナビ	速度	📍	可
② ON：捕捉中	捕捉中	📍	不可
③ OFF	バッテリーセーブ	📍	不可

●バッテリーセーブモードの自動ON/OFF

- ・マップページ以外の画面を見ているときは、受信機はノーマル（連続）モードになり常にONになります。
- ・マップページからメインメニューに戻るときに受信機がONになり、再びマップページにするとバッテリーセーブモードになります。

バッテリーセーブモードの解除

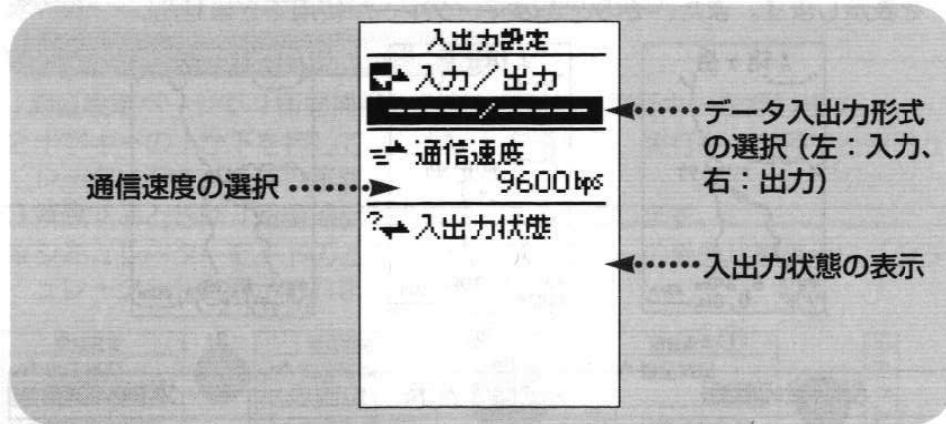
1. マップ画面で実行キーを押すとウィンドウが現れます。
2. カーソルを「ノーマルモード」に合わせると「ノーマルモードにする」と反転表示されます。
3. 実行キーを押すと、マップ画面になります。

ご注意

- ・シミュレーターモードではナビゲーションはできませんし、マークキーも使えません。
- ・バッテリーセーブモードで使用した場合、正確な軌跡は記録されません。そのためリターンナビの使用もおすすめできません
- ・衛星の受信状態が悪いときは受信機がONのままになり、バッテリーセーブにならないことがあります。

入出力設定ページ

データをパソコンや他のポケナビとやりとりするときや、D-GPSを使うときの設定を行います。詳しい方法は第5章で説明します。



■入力/出力

パソコンやディファレンシャル受信機といった外部装置と接続するための、データの入出力形式を設定します。

初期設定では入出力なし (----/----) になっています。

データ入出力形式には以下のものがあります。

EMPEX ・ ・ 2台のポケナビ間 (GPS65シリーズに限る) や、パソコンとデータを入出力するときに使用します。

RTCM ・ ・ ・ DGPS信号を入力するときに使用します。

NMEA ・ ・ GPSで受信した位置情報をリアルタイムで出力するときに使用します。NMEA信号はGPSからの出力のみで、出力フォーマットはNMEA0183 V2.0です。

TRACK ・ ・ 記録した軌跡データを疑似NMEA形式で出力します。NMEA対応の地図ソフトを使用し、地図に軌跡を表示できます。

■通信速度

外部装置とポケナビとの通信速度を設定できます。

設定できる通信速度は1200、2400、4800、9600(bps)の4段階です。

※NMEA形式を選択すると通信速度は自動的に4800bpsになります。

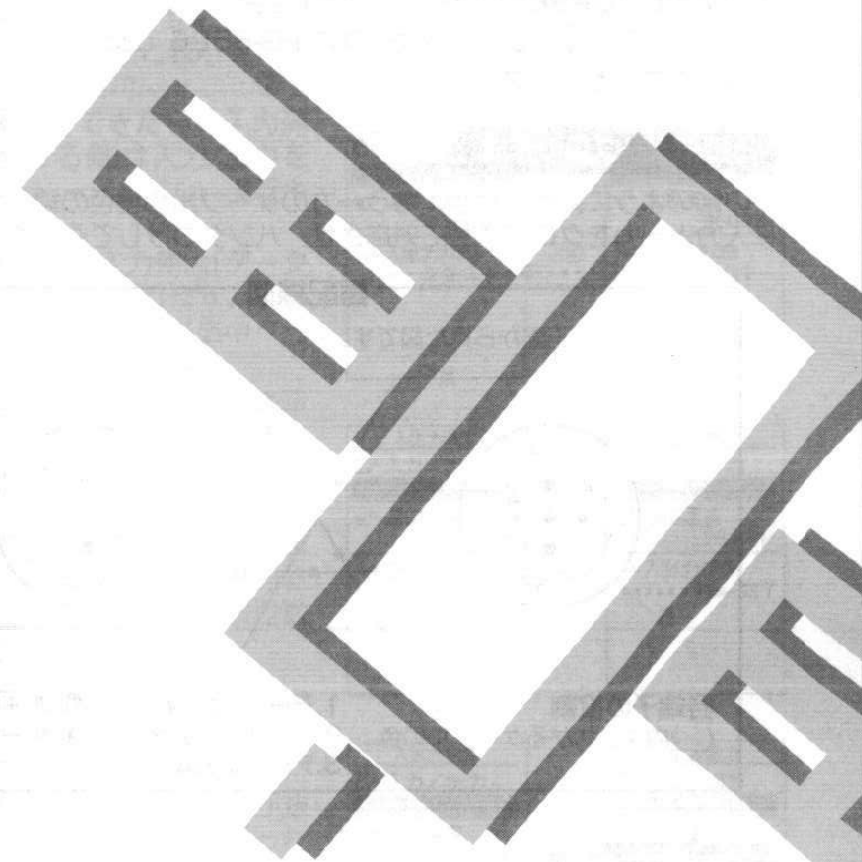
■入出力状態

入出力形式を選択したときに現在の状態を表示します。

ご注意

入出力形式が設定されていると電池の消費が早くなるので、入出力を使わないときは入出力なし (----/----) に設定してください。

5. 接続とデータ入出力



Part V

DATA TRANSFER

ポケナビ同士の接続

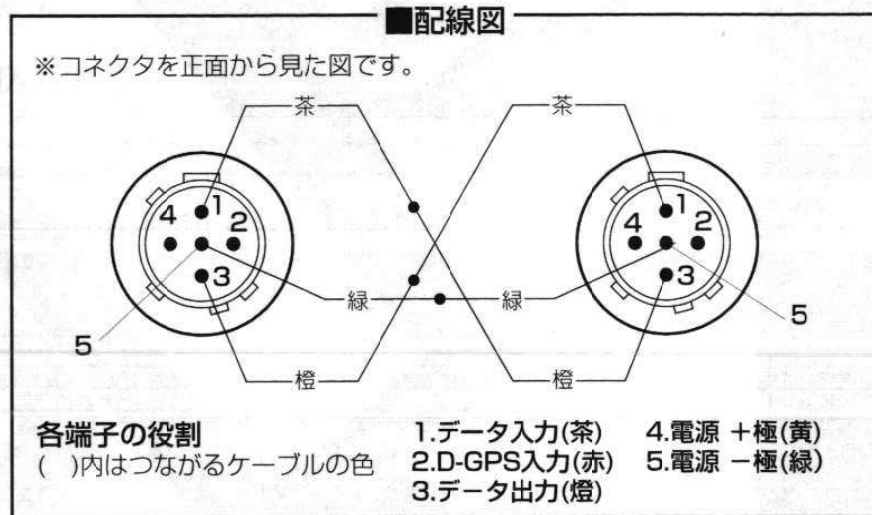
ポケナビ同士のデータ入出力ではユーザーポイントの受け渡しができます。2台の接続にはオプションのデータケーブルが2本必要で、少し工作をしなければなりません。

1. 準備するもの

- ①ポケナビ (GPS65シリーズに限る) 2台
- ②電源ターミナル付きデータケーブル FG-6526 2本
- ③ハンダゴテとハンダ

2. 接続ケーブルの作成

下の図のように茶色の線が、もう一方のケーブルの橙色の線につながるように入力と出力をクロスさせて対応させ、ハンダづけしてください。



3. 接続のしかた

コネクタを背面の電源/データポート (大きい方の端子)へ差し込み2台のポケナビを接続します。

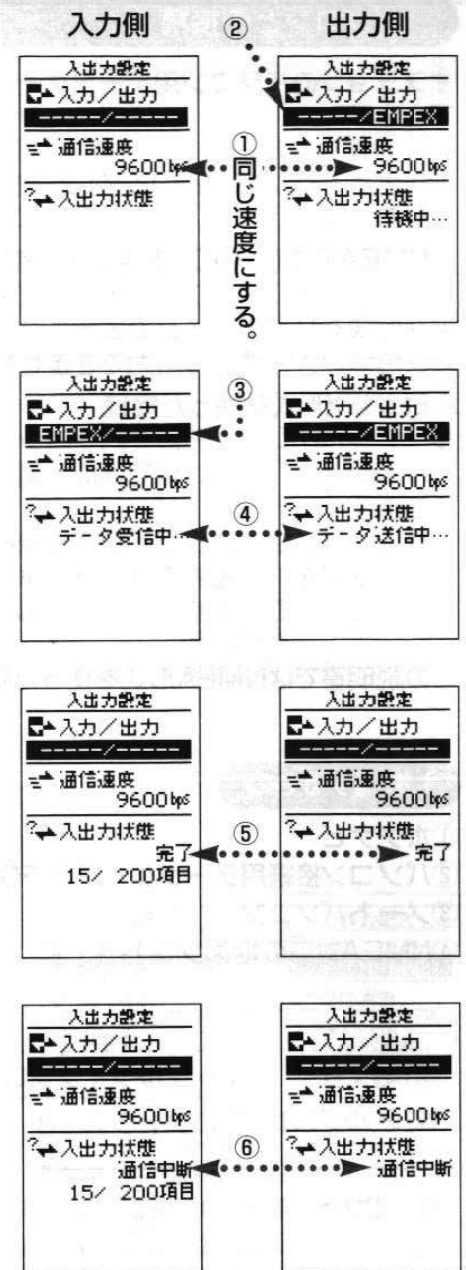


4. 入出力の操作

1. 入出力設定ページで入力側(データを受ける側)、出力側(データを送る側)共に通信速度を同じ数値に設定します。・・・①
 2. 出力側は、入出力設定ページの入力/出力を「-----/EMPEX」にし、実行キーを押します。入出力状態に「待機中・・・」と表示され出力の準備ができました。・・・②
 3. 出力側の準備ができれば、入力側(データを受ける側)は入力/出力を「EMPEX/-----」にし、実行キーを押します。・・・③
 4. 通信が開始され、入力側は「データ受信・・・」と表示されます。このとき、出力側は「データ送信中・・・」と表示されます。・・・④
 5. 通信が終了すると「完了」が表示されます。入力側は受信したデータ数が表示されます。・・・⑤
- (表示される項目数はデータの packets 数なのでポイント数とは一致しません。また、軌跡やルートは入力されないので入力側と出力側で項目数が違います。)

※受信側のユーザーポイントの空いている数だけ登録します。

※入出力状態は入力/出力を変更した場合、通信途中でケーブルが抜れたり何らかのトラブルがあった場合は、入力側は「通信中断」と受信したポイント数が表示され、入力/出力が「-----/-----」になります。出力側は「通信中断」と表示されます。・・・⑥



⚠ 注意

工作をされる際は工具やハンダゴテの取り扱いには十分注意し、火傷、ケガをなさらないようにしてください。工作の際のケガや、事故に関しては弊社は一切責任を負いませんので、お客様の責任において工作は行ってください。

パソコンとの接続

オプションのパソコン用データケーブルを使ってパソコンと接続することができます。

ポケナビとパソコンとの接続には出力する信号の種類によって、2通りの方法があります。

1.NMEA形式(TRACKを含む)を使った接続

マップライフ、プロアトラスなど市販のパソコン用地図ソフトの画面上に現在位置をリアルタイムで表示させ、軌跡を記録することができます。現在位置以外の情報は出力できません。

2.EMPEX形式を使った接続

ルート、ポイント、軌跡をパソコンに出力して保存することができ、ルートとポイントはパソコン側で作成・編集したものをポケナビに入力することができます。

しかし、現在は対応ソフトがなく現在開発中です。(99年3月発表予定)ソフトを自作なさる方には当社のホームページにてEMPEXフォーマットの仕様を公開しています。(http://www.empex.co.jp/gpsqa/gpsqa.html)

この説明書ではNMEA形式を使った接続に絞って説明していきます。

1.準備するもの

- ①ポケナビ
- ②パソコン接続用データケーブル FG-6527 または FG-6528
- ③ノートパソコン
- ④NMEA対応の地図ソフト(下記)

販売元	製品名	対応OS
(株)昭文社	マップライフプロ'98	Windows95/98/NT4.0
(株)アルプス社	プロアトラス'98	Windows95以上/NT3.51以上

上記のソフトに関するお問い合わせ先

(株)昭文社 電話:03-5625-4134

ホームページ: http://www.mapple.co.jp

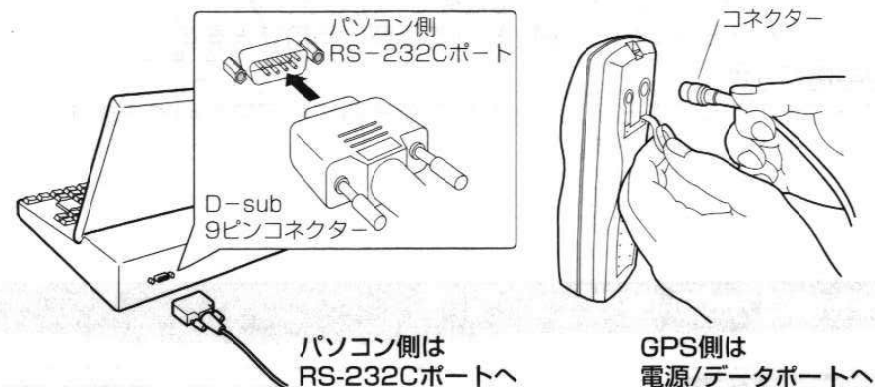
(株)アルプス社 電話:052-789-1500

ホームページ: http://www.alpsmap.co.jp/

2.接続のしかた

- ・接続するパソコンに9ピンのRS-232Cポート*1がある場合、パソコン接続用データケーブル(FG-6527)を使用して接続してください。
- ・9ピンの端子がないパソコン(25ピンの機種など)の場合は市販の変換コネクタが別途必要です。

*1: Windows機ではCOMポートと呼ばれています。



3.NMEA出力の操作

- 1.ポケナビの画面を入出力ページにします。
- 2.入力/出力を「----/NMEA」(または「----/TRACK」)に設定します。・・・①
D-GPSを行いながらデータ出力をおこなう際は「RTCM/NMEA」(または「RTCM/TRACK」)に設定します。・・・②
- 3.パソコンのNMEAに対応したソフトを起動します。(ソフトの使用方法に関しては、それぞれのソフトの説明書をお読みください。)



①



②

ご注意

- ・NMEA信号はシミュレーターモードやバッテリーセーブモードでマップに「バッテリーセーブ」と表示されているときは出力されません。
- ・捕捉中の状態で出力される情報は最後に測位した位置のものです。

D-GPS (ディファレンシャルGPS) について

ディファレンシャルとは、米国政府が実施している衛星信号の強制精度劣化(S.A.)により50~100mの誤差が出てしまう測位性能を地上基準局から送られる補正データにより10m以内の精度に引き上げます。

ポケナビで利用できるD-GPSの方法は2種類あります。

1.FM多重方式

全国の東京FM系列局が受信できる地域で利用できます。受信料などが必要ないので、最も安価で手軽に利用できます。

2.携帯電話方式

NTTドコモのデジタル800MHz が受信できるエリアで利用できます。契約料、通話料が必要です。

FM多重方式D-GPS

1.準備するもの

- ①ポケナビ
- ②電源ターミナル付きデータケーブル FG-6526
- ③D-GPS用FM多重レシーバー M-51(写真)
- ④FMアンテナ
- ⑤ハンダゴテとハンダ



FM多重レシーバーとFMアンテナに関しては下記へお問い合わせください。

(株) データテック

TEL 03-5703-7041 FAX 03-5703-7043

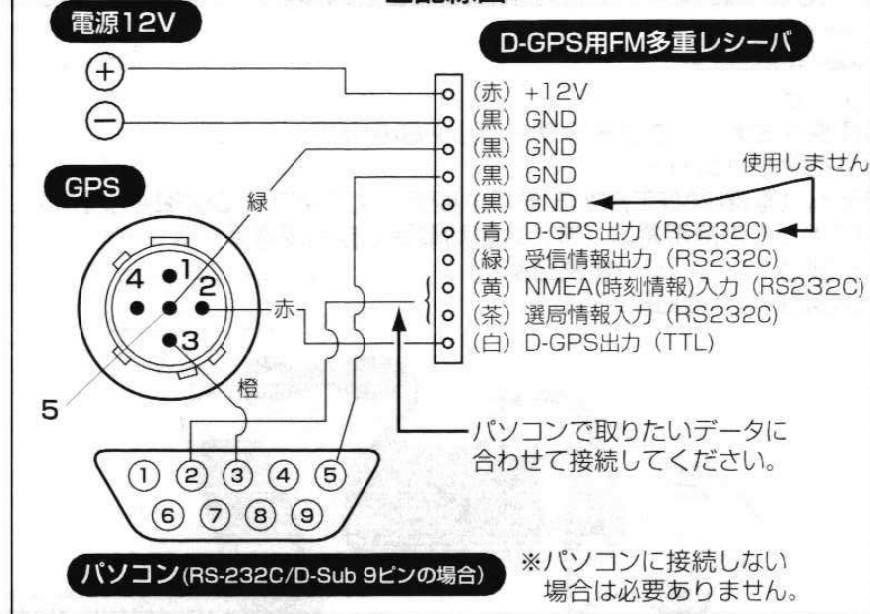
E-mail sakai@datatec.co.jp

ホームページ <http://www.datatec.co.jp>

2.接続ケーブルの作成

ポケナビとFM多重レシーバーを接続するためにケーブルの工作が必要です。右ページの配線図を参考にして工作を行ってください。

配線図



3.DGPS入力の設定

- 1.ポケナビの画面を出力ページにします。
- 2.入力/出力を「RTCM/----」に設定します。・・・①
D-GPSを行いながらデータ出力をおこなう際は「RTCM/NMEA」に設定します。・・・②
- 3.D-GPS信号が入力されるとメインメニューの受信状態表示にDGPSと表示されます。・・・③



①



②



③

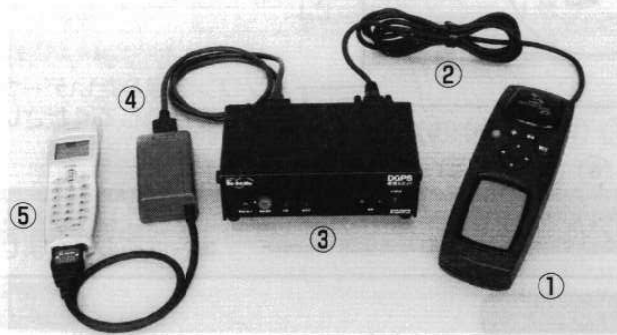
ご注意

- ・ポケナビが衛星を捕捉していないときはD-GPS情報も入力されません。
- ・ビルの谷間など電波の乱反射の起こる場所ではD-GPS情報が入力されても誤差は大きくなります。

携帯電話方式D-GPS

1. 準備するもの

- ①ポケナビ
- ②電源ターミナル付きデータケーブル FG-6526
- ③DGPS受信ユニット
- ④モデム (写真はNTTドコモ モバイルデータアダプタ 96F2キット1)
- ⑤NTTドコモの携帯電話 (または船舶電話か自動車電話)
- ⑥電子部品 (右ページの接続図参照)
- ⑦ハンダゴテとハンダ

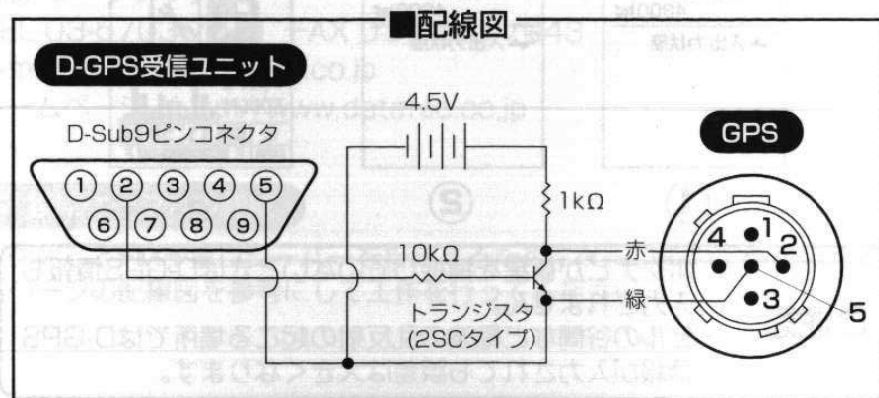


また、携帯電話方式のD-GPSサービスを受けるためには日本船舶通信 (株)との契約料、携帯電話の通話料が必要です。

受信ユニットとD-GPSサービスについてのお問い合わせは
日本船舶通信 (株) TEL(03) 3282-0184 まで

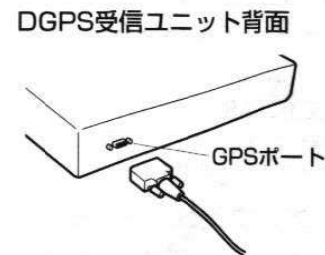
2. 接続ケーブルの作成

ポケナビとDGPS受信ユニットを接続するために、ケーブルの工作が必要です。下の配線図を参考にして工作を行ってください。



3. 接続方法

- ・ポケナビとDGPS受信ユニットの接続は、パソコン接続用データケーブルを使います。ポケナビ側は電源/データポートへ、DGPS側はD-Sub9ピンコネクタをGPSコネクタポートへ接続してください。
- ・DGPS受信ユニットとモデム、電話機の接続はDGPS受信ユニットの取扱説明書をご覧ください。



4. DGPS入力の設定

1. ポケナビの画面を入出力ページにします。
2. 入力/出力を「RTCM/----」に設定します。・・・①
D-GPSを行いながらデータ出力をおこなう際は「RTCM/NMEA」に設定します。・・・②
3. D-GPS受信ユニットの操作を行い、D-GPS情報の受信を開始します。操作方法はDGPS受信ユニットの取扱説明書をご覧ください。
4. D-GPS信号が入力されるとメインメニューの受信状態表示にDGPSと表示されます。・・・③



①



②



③

ご注意

- ・ポケナビが衛星を捕捉していないときはD-GPS情報も入力されません。
- ・ビルの谷間など電波の乱反射の起こる場所ではD-GPS情報が入力されても誤差は大きくなります。

ナビトラシステムとの接続

ナビトラ(ナビゲーション・トランシーバー)とはアマチュア無線を利用してGPSの位置情報を送受信するシステムです。

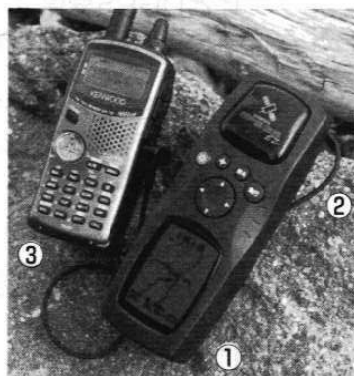
1. 準備するもの

- ① ポケナビ
- ② 電源ターミナル付きデータケーブル FG-6526
- ③ (株)ケンウッド データコミュニケーター TH-D7
- ④ ハンダゴテとハンダ

また、③のデータコミュニケーターを使用するためには郵政省のアマチュア無線局の免許が必要です。ナビトラ、アマチュア無線に関しては下記にお問い合わせください。

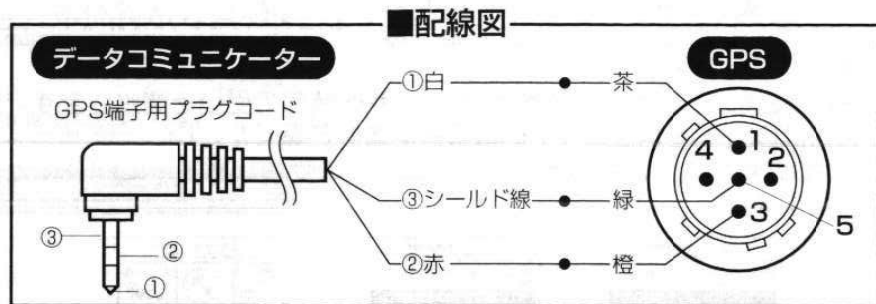
(株)ケンウッド お客様相談室 TEL (03) 3477-5335

ホームページ http://www.kenwoodcorp.com/j/products/radio_index.html



2. 接続ケーブルの作成

ポケナビとデータコミュニケーターを接続するために、ケーブルの工作が必要です。下の配線図を参考にして工作を行ってください。



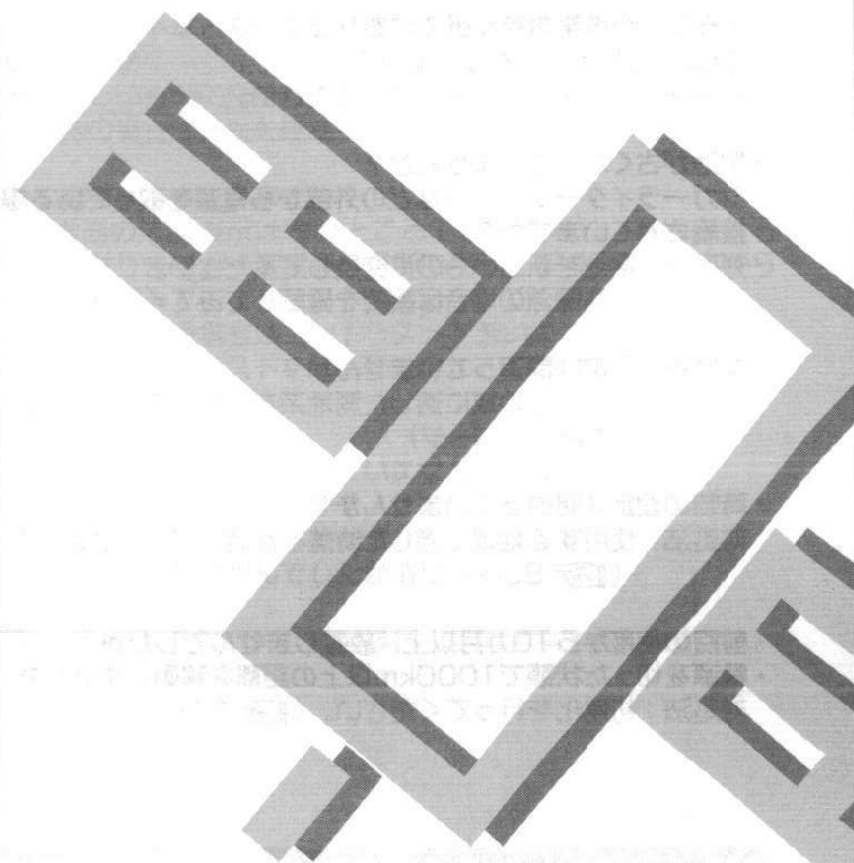
3. 接続方法

1. 作成したケーブルをポケナビ側は電源/データポートへ、データコミュニケーター側はGPSレシーバー端子へ接続してください。
 2. ポケナビの設定は70ページと同じ操作でNMEA出力を設定します。
- ※くわしい内容は(株)ケンウッドのカタログ、ホームページ、取扱説明書等をご覧ください。

ご注意

データコミュニケーターで受信した相手の位置情報をポケナビに入力することはできません。相手の位置情報はデータコミュニケーターの画面に表示されます。

6. ポケナビQ&A



Part VI

QUESTION & ANSWER

Q1：衛星信号が受信できないときは？

原因として以下のことが考えられるのでチェックしてください。

- ・上空の視界は開けていますか？
- ・高圧電線の近くなど、磁気を発生するものが近くにありませんか？
対処法：場所を移動してください。
- ・1.5GHzの携帯電話が近くにありますか？
- ・他のGPSが近くにありますか？
対処法：ポケナビから遠ざけてください。
- ・電池が古くなっていませんか？
- ・シガーライターソケットなどの外部から電源を取っている場合は、正しく接続されていますか？
対処法：電池を新しいものに交換してください。
外部電源の場合は接続を確認してみてください。
- ・測地系の設定は間違っていますか？
対処法：使用する地域に適した測地系を設定してください。
(☞ 83ページ)
- ・時差の設定は間違っていますか？
対処法：使用する地域に適した時差を設定してください。
(☞ 86ページ)
- ・前回の使用から10カ月以上、放置しませんでしたか？
- ・電源を切った状態で1000km以上の距離を移動しませんでしたか？
対処法：初期化を行ってください。(☞ 61ページ)

Q2：電源が入らない/画面が映らないときは？

原因として以下のことが考えられるのでチェックしてください。

- ・電池は正しく入っていますか？
対処法：電池蓋を開けて確認し、正しく入れ直してください。
- ・電池が古くなっていませんか？
- ・シガーライターソケットなどの外部から電源を取っている場合は、正しく接続されていますか？
対処法：電池を新しいものに交換してください。
外部電源の場合は接続を確認してみてください。
- ・コントラストの調整はありますか？
対処法：LCD画面の液晶表示は寒いところでは薄くなり、暑いところでは濃くなります。一度常温の場所に戻ってしばらく置いてから電源を入れてみてコントラストの調節をしてください。
寒いところで使う場合はコントラストを濃いめに、暑いところで使うときはコントラストを薄めに設定してください。
(☞ 60ページ)
- ・極端に寒いところや暑いところで使っていませんか？
- ・強い衝撃や振動を与えませんでしたか？
- ・強い磁気や電磁波を与えませんでしたか？
- ・水などの液体が内部に入りませんでしたか？
対処法：故障が考えられます。
お買い上げ店または、弊社お客様サービス室へご相談ください。

Q3：海外で使うときは？

- ・お使いになる地域に合わせて、測地系や時差の設定をしてください。
(☞ 83～86ページ)

注・・・本機は日本以外の地図データやポイントデータは内蔵していません。

Q4：位置の誤差が出るのですが？

A：誤差の理由

GPSシステムは米国国防総省によって管理されており、元々軍事用に開発されたものなので、軍事目的に利用されないように国防当局により、誤差がでるように衛星信号の強制精度劣化(S.A.)が実施されています。

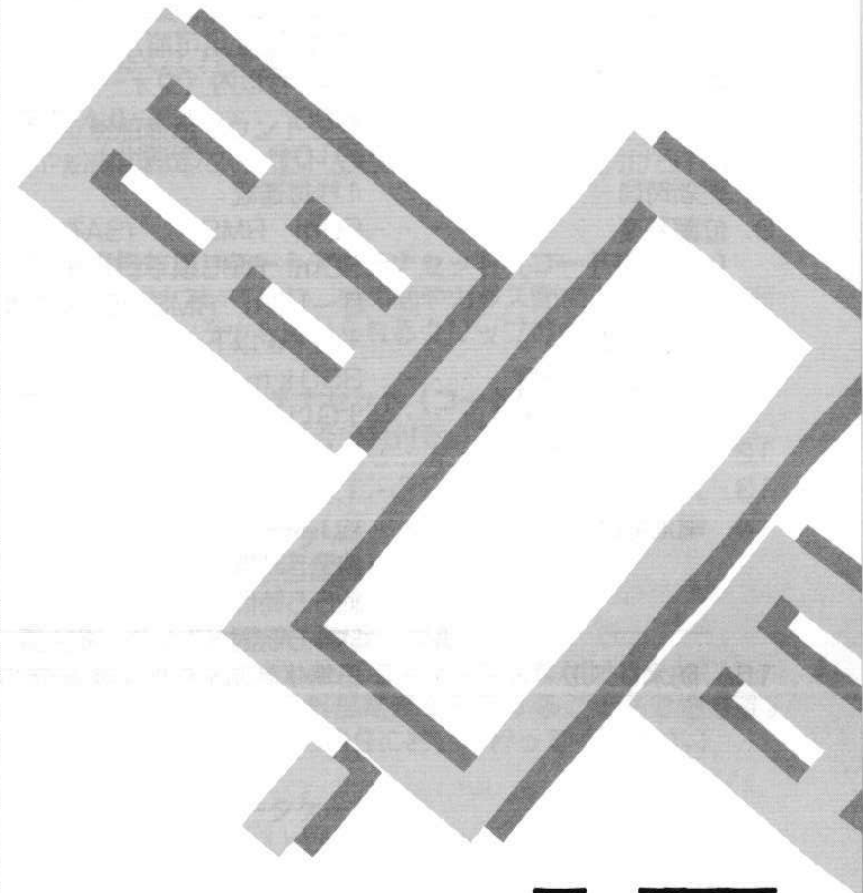
そのため本機の場合、位置の誤差が通常50mRMS(63%)前後出てしまいます。(50mRMS(63%)とは正確な位置を中心にして、半径50mの中に誤差が収まる確率が63%ということです。)

また、その誤差は衛星の受信状態により大きく変化します。「3D」のときよりも「2D」のときのほうが誤差が大きくなります。

誤差をなるべく少なくするために

- ・測地系と時差の設定を正しく行ってください。
- ・上空の視界の開けた場所でお使いください。
- ・強い磁気や電磁波のある場所で使わないでください。
- ・古い電池を使わないでください。
- ・ディファレンシャルGPS(DGPS)を利用する。

7. 付録



Part VII

Appendix

製品仕様

1. 材質 ABS樹脂製
2. 寸法 約167×60×36mm
3. 重量 約235g(電池含む:リチウム電池使用時)
4. 使用温度 -10℃~+60℃
5. メモリーバックアップ あり/内蔵リチウム電池による
6. 受信方式 11チャンネル複合デジタル方式
(DGPS使用可能)
7. 衛星捕捉時間 約40秒以内 (ウォームスタート . . ※1)
約90 (コールドスタート . . ※1)
約10分 (初期化)
8. 更新時間 1秒毎連続
9. 位置精度 50m RMS (SA有り)
50m RMS以下(SA無し)
5~10m RMS (DGPS補正時)
10. 速度精度 1m/s 以下
11. 追従性能/速度 350km/h以下
加速度 1G以下
12. インターフェイス NMEA0183, RTCM-104
13. 入力電源 1.5V電池3本または、5~8V DC
14. 電池寿命※2 約13時間 (リチウム電池)
約7.5時間 (アルカリ電池)
約5.5時間 (ニッケル水素電池)
約4.5時間 (ニッカド電池)
15. 防水レベル 日常生活防水(JIS4級/防まつ型)

※1 ウォームスタートとは、前回の使用から1時間以内に電源を入れて使用すること。コールドスタートとは1時間以上経過してから電源を入れて使用すること。

※2 常温で使用し、バックライト非使用、外部アンテナ接続なし、データ入出力なしの場合

オプションパーツ

ポケナビGPS65EZには、下記のオプションパーツをご用意いたしました。オプションパーツをお近くの販売店でお求めになれない場合は、この電話番号へお問い合わせください。フリーダイヤル 0120-680-801

FG-6521 携帯/自転車兼用ソフトケース

ベルトやザックの肩掛けに装着できるソフトタイプの携帯用ケース。透明窓の上から、装着したままで操作できます。付属のストラップで自転車のハンドルに本体を固定して「自転車ナビ」にできます。

FG-6522 車載/船舶兼用マウントブラケット

ポケナビを車内や船内に固定でき、上下左右に角度を変えて取付けられます。

FG-6523 車載/携行兼用リモートアンテナセット (コード長2.5m)

マグネットと吸盤の両方がついており、鉄の面やガラス面に取付可能。歩行時は帽子やザックの上にアンテナを付けられるクリップ付き。

FG-6524 船舶用リモートアンテナセット (コード長5m)

マグネットとパイプ形状の場所に付ける金具付き。鉄の面や、手すりなどに取付可能。長めのコードで設置の自由度をアップします。

FG-6525 シガーライターアダプター

自動車のシガーライターソケットから電源がとれます。

FG-6526 電源ターミナル付きデータケーブル

お使いになる方が接続する機器に合わせてコネクタを取り付けるタイプのケーブル。データ入出力を行いながら外部電源を利用することもできます。(注意:コネクタの取付はお客様各自の責任において行ってください。)

FG-6527 パソコン接続用データケーブル

コンピュータと接続してデータの入出力を行うためのケーブル。D-Sub9ピンRS-232Cコネクタ付きでDOS/V互換機、一部のNEC PC-9800シリーズに対応。

FG-6528 シガーライターアダプター付きデータケーブル

FG-6527にシガーライターアダプターを付けたタイプのケーブル。車内でデータ入出力を行いながらシガーライターソケットから電源がとれます。

測地系一覧表

このポケナビでは、以下に表示される測地系が選択可能です。
初期設定の測地系はトウキョウになっています。日本国内で使用するとき
はトウキョウかニホンを使用してください。海外で使用するときには地域に合
わせて測地系を選択してください。

00	WGS-84	全世界汎用 1984年制定
01	WGS-72	全世界汎用 1972年制定
02	トウキョウ	日本、韓国
03	NAD-27	アメリカ大陸汎用
04	アラスカ/カナダ	アラスカ、カナダ、ニューファンドランド島
05	ヨーロッパ 1950	オーストリア、ベルギー、デンマーク、フィン ランド、フランス、ドイツ、ジブラルタル、ギ リシャ、イタリア、ルクセンブルグ、オランダ、 ノルウェー、ポルトガル、スペイン、スウェー デン、スイス
06	オーストラリア 1969	オーストラリア
07	ミナミアジア	シンガポール
08	ミナミアメリカ	南アメリカ(アルゼンチン、ボリビア、チリ、コ ロンビア、エクアドル、パラグアイ、ガイアナ、 ペルー、ベネズエラ、トリニダード・トバゴ)
09	グリーンランド	グリーンランド
10	NAD-83	北・中央アメリカ汎用
11	アイルランド 1955	アイルランド
12	アイルランド 1965	アイルランド
13	ニュージージーランド	ニュージーランド
14	ヨーロッパ 1979	オーストリア、ノルウェー、スペイン、スウェ ーデン、スイス、フィンランド
15	イタリア 1940	イタリア
16	ミナミアフリカ	南アフリカ共和国
17	サウジアラビア	サウジアラビア
18	インド・ネパール	インド、ネパール、バングラデシュ
19	フィリピン	フィリピン
20	イギリス	イギリス (シェットランド島を含む)
21	ハワイ	ハワイ
22	ジャカルタ	ジャカルタ、スマトラ島 (インドネシア)

23	マレーシア・シンガポール	マレーシア西部、シンガポール
24	ニホン	日本
25	エチオピア・スーダン	エチオピア、マリ、セネガル、スーダン
26	ソマリア	ソマリア
27	バーレーン	バーレーン
28	ココス	ココス諸島
29	ザンビア・ジンバブエ	ボツワナ、レソト、マラウイ、スワジランド、 ザイール、ザンビア、ジンバブエ
30	ケニア	ケニア、タンザニア
31	アセンション	アセンション諸島
32	イオウジマ	硫黄島
33	テルン	テルン島
34	セントヘレナ	セントヘレナ島
35	マーカス	マーカス諸島
36	エフェイト・エロマンガ	エフェイト、エロマンガ諸島
37	バミューダ	バミューダ諸島
38	コロンビア	コロンビア
39	アルゼンチン	アルゼンチン
40	フェニックス	フェニックス諸島
41	フロリダ・バハマ	アメリカ合衆国フロリダ州、バハマ
42	チュニジア	チュニジア
43	チャタム	チャタム諸島 (ニュージーランド)
44	パラグアイ	パラグアイ
45	ブラジル	ブラジル
46	ニュージョージア	ニュージョージア諸島
47	イースター	イースター島
48	モルジブ	モルジブ
49	グアム 1963	グアム
50	ガダルカナル	ガダルカナル島
51	ホンコン 1963	香港
52	ディエゴガルシア	ディエゴガルシア
53	ジョンストン	ジョンストン島 (スリランカ)
54	スリランカ	スリランカ
55	ケルケレン	ケルケレン島

時差一覧表

UTC (グリニッジ時間) に対する時差は経度によって異なります。各経度区間での時差は以下に示すとおりです。
(サマータイムは下記の時差に1を加算します)

経度範囲	時差	主要国・都市
W180.0° ~ W172.5°	-12	
W172.5° ~ W157.5°	-11	
W157.5° ~ W142.5°	-10	ハワイ
W142.5° ~ W127.5°	-9	
W127.5° ~ W112.5°	-8	サンフランシスコ (米国)
W112.5° ~ W097.5°	-7	デンバー (米国)
W097.5° ~ W082.5°	-6	シカゴ (米国)、メキシコ
W082.5° ~ W067.5°	-5	ニューヨーク (米国)、ペルー
W067.5° ~ W052.5°	-4	ボリビア
W052.5° ~ W037.5°	-3	ブラジル
W037.5° ~ W022.5°	-2	アゾレス諸島
W022.5° ~ W007.5°	-1	
W007.5° ~ E007.5°	0	イギリス、マリー、モロッコ
E007.5° ~ E022.5°	+1	ドイツ、フランス
E022.5° ~ E037.5°	+2	トルコ、エジプト
E037.5° ~ E052.5°	+3	イラク、ヨルダン、エチオピア
E052.5° ~ E067.5°	+4	オマーン
E067.5° ~ E082.5°	+5	パキスタン
E082.5° ~ E097.5°	+6	バングラディッシュ
E097.5° ~ E112.5°	+7	タイ
E112.5° ~ E127.5°	+8	中国
E127.5° ~ E142.5°	+9	日本、韓国
E142.5° ~ E157.5°	+10	シドニー、メルボルン (豪州)
E157.5° ~ E172.5°	+11	
E172.5° ~ E180.0°	+12	ニュージーランド

56	カマンブラク島	カマンブラク島
57	リベリア 1964	リベリア
58	マーハ島 1971	マーハ島
59	サルページ ショトウ	サルページ島
60	エリトリア	エチオピア エリトリア地方
61	モロッコ	モロッコ
62	ミッドウェー	ミッドウェー
63	ナイジェリア	ナイジェリア
64	トリニダード・トバゴ	トリニダード・トバゴ
65	コルボフローレンス島	コルボフローレンス島
66	エジプト	エジプト
67	オマーン	オマーン
68	カナリヤ ショトウ	カナリヤ諸島
69	ピトカイルン島	ピトカイルン島
70	チリ南	チリ南部
71	プエルトリコ	プエルトリコ、バージン諸島
72	カタール	カタール
73	マスカーレン	マスカーレン島
74	サント島	サント島
75	サンタマリア島	サンタマリア島
76	フォークランド	フォークランド諸島東部
77	ポルトサントマデイ	ポルトサント諸島、マデイラ諸島
78	フェイアル・テルセイラ	フェイアル、テルセイラ
79	ブルネイ・マレーシア	ブルネイ、マレーシア東部
80	トリスタン	トリスタン
81	フィジー ショトウ	フィジー
82	マーシャル ショトウ	マーシャル諸島
83	スリナム	スリナム
84	ノルウェー	ノルウェー
85	スウェーデン	スウェーデン

索引

2Dナビ/2次元測位	9	え	
3Dナビ/3次元測位	9	衛星捕捉	55,63
AL	60	円表示	49
COMポート	70	か	
DGPS	71	カーソル	19
D-Sub	70,72	海里	55
EMPEX	65,69	き	
FM多重方式D-GPS	71	軌跡	29,32
FM多重レシーバー	71	軌跡設定ページ	57
GPS	9	記録点数	58
LCD画面	6	逆転	40
Li	60	境界線	49
NC	60	強制精度劣化	79
NH	60	緊急ナビ	23,47
NMEA	65,69	く	
RS-232C	70	グリニッジ標準時	86
RTCM	65,72,74	け	
S.A.	79	携帯電話方式D-GPS	71,73
UTC	86	現在位置ページ	20,53
Windows	69	県名	49
あ		こ	
アルマナックデータ	61	コールドスタート	81
い		高度	20
位置表示形式	55	コントラスト	60
移動距離	20,53	コンパスページ	27,51
緯度・経度	20	さ	
う		最高速度	53
ウォームスタート	81	し	
		時間制	56
		時刻	56
		時差	56,86
		実行キー	15
		始点	43
		終点	43
		シミュレーターモード	63
		十字カーソル	31
		十字キー	15

受信状態表示	18	バッテリーセーブモード	64
初期化	61	バッテリーセーブ間隔	64
信号強度バー	18	ひ	
進行方位	51	日付	56
す		表示の設定	49
スキップ機能	43	ふ	
スクロール	31	フィート	55
そ		プロアトラス	35,69
測位	9	ほ	
測位設定ページ	55	ポイント	21
速度	20,27,29	ポイントデータ	40
測地系	55,83	ポイントナビ	23,24
ち		ポイントリスト	24
地図ソフト	35,69	方位リング	27
つ		捕捉中	18
通信速度	65	ま	
て		マーク	21
ディファレンシャル	71	マークキー	15
データケーブル	82	マイル	55
電源/データポート	6	マウントブラケット	82
電源ボタン	15	マップ表示設定	49
電池残量表示	17	マップページ	29,49
な		マップライフプロ	35,69
ナビゲーション	27	み	
ナビトラ	75	道標	35
ナビ方法	23	め	
ナビ方法選択ページ	23	メインメニュー	17
に		メートル	55
入出力状態	65	も	
入出力設定ページ	65	目的地方位	51
の		目的地への距離	27
ノートパソコン	69	目的地名	27
ノート	55	文字入力ページ	22
は		戻るキー	15
バックライト	15,59	や	
		矢印	27

取扱説明書および簡易ガイドブックについて

本書および付属の簡易ガイドブックの著作権はエンベックス気象計株式会社に帰属します。

本書および付属の簡易ガイドブックの一部あるいは全部を、当社から書面による事前の許諾を得ることなく複写複製（コピー）することを禁じます。

また、本書および付属の簡易ガイドブックの内容（文章、イラスト等）についても当社から書面による事前の許諾を得ることなく転載、記載することを禁じます。

©1998 エンベックス気象計株式会社

※ポケナビはエンベックス気象計株式会社の登録商標です。

※プロアトラスはアルプス社の登録商標です。

※マップライフプロは昭文社の登録商標です。

※Windowsは米国マイクロソフト社の登録商標です。

※ナビトラは株式会社ケンウッドの登録商標です。

ゆ	
ユーザーポイント	35
ユニオンマップ	35

り	
リセット	53
リターンナビ	23,45
リターンルート	45
リモートアンテナ	82
リモートアンテナポート	6

る	
ルートナビ	23,42

アフターサービスについて

- 保証期間内に正常なご使用状態で、万一故障した場合には保証書を添えてお買い上げ店または、保証書に記載の弊社お客様サービス室にお送りください。
- 保証内容は、保証規定に記載したとおりです。
- この製品の補修部品の保存期間は製造打ち切り後5年間です。
※補修部品とは製品の機能を維持するために不可欠な本体部品です。
- 修理のとき、必要な部品や付属品などは、一部代替品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
- 修理の可能な期間は、ご使用条件によりいちじるしく異なるため、精度も元通りにならない場合がありますのでご了承ください。

保証規定

- 1.説明書の注意に従った正常なご使用状態で故障した場合は、お買い上げ後1年間、無料で修理いたします。尚、故障の内容によりましては修理に代わって同等品と交換させていただくことがあります。
- 2.修理の必要が生じた場合は、製品に本証を添えて、お買い上げ店または、エンペックス気象計お客様サービス室へご持参あるいはご郵送ください。(郵送料はお客様がご負担ください。)
- 3.保証期間内でも次の場合は、有料修理になります。
イ.誤用・乱用・および扱い不注意による故障
ロ.火災・地震・水害および盗難等の災害による故障
ハ.不当な修理や改造および異常電圧に起因する故障
ニ.使用中に生じたキズなどの外観上の変化
ホ.消耗品および付属品の交換
ヘ.本証の提示がない場合および必要事項（お買上げ日、販売店名等）の記入がない場合
- 4.本証は日本国内においてのみ有効です。また本証の再発行はいたしませんので、大切に保存してください。

This warranty is valid only in Japan.

メモ欄